

令和2・3年度大分県租税教育推進協議会委嘱

租税教育公開研究発表会 研究紀要

研究主題

自分や地域の未来を見つめ、主体的に学習に取り組む学習者の育成



研究テーマ
『ともに生きる』

お年寄りに優しい社会
子どもに優しい社会
子どもやお年寄りが生き生きとした社会
子育てしやすい社会
災害などに強い社会
税負担の少ない社会
借金が少ない社会

令和 3年 11月 12日 (金)

九重町立このえ緑陽中学校

学校と地域の概要

現在、九重町には、2つのこども園、6つの小学校、1つの中学校と4つの地区公民館やまちづくり協議会がある。それぞれが密接に連携し、切れ目のない教育を目的とした「このえ学園基本計画」に基づき、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を行っている。

本校は、開校 9 年目を迎える学校で、野上中学校、東飯田中学校、南山田中学校、飯田中学校が統合してできた新設校である。「このえ緑陽中学校」の開校当時の基本理念は、『ひかりと夢を育む学校』。“夢”をキーワードにしたまちづくりと連動しながら、豊かな自然環境を生かし、自然の光と風を感じる学校、生徒や教職員が心身ともに健やかで明るい学校でありたいという願いから、“ひかり”という言葉をもう一つのキーワードに掲げている。

今年度も、7 学級 212 人の生徒が、九重町の地域の自然や産業・文化、町づくりについて系統的に学習をする「このえ学」に取り組んでいる。将来の夢をもって自己実現に向かう力やふるさと九重を大切にすることを目標としている。外部講師の方による職業講話、擬似体験学習や職場体験学習などを通して、学校・家庭・地域と多くの「関わり・つながり」をもつことで、「ともに生きる」力を育んでいく取組を行っている。



このえ緑陽中学校

目次

I 研究の概要

1. 学校教育目標と租税教育研究主題1
2. 主題設定の理由1~2
 - (1)学校教育目標から
 - (2)租税教育に関する生徒の実態
 - (3)各学年の租税教育の目標
3. 租税教育研究内容2
4. 研究の全体構想図3
5. 租税教育の研究組織図4
6. 3つの資質能力の分類5~7
7. 租税教育カレンダー8~10
8. 研究の経過(令和2年度・3年度)11~12

II 実践の記録

1. 租税教室
 - (1)租税教室【令和2年度】
3年生対象・2年生対象13
 - (2)租税教室【令和3年度】
1年生対象・3年生対象14
2. その他
 - ①「視覚しょうがいしゃ」疑似体験15
 - ②高齢者疑似体験15
3. 「ともに生きる」実践
 - (1)「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの取組16
 - (2)ピア・サポーター養成講座17
 - (3)人権集会(ピンクシャツデーの取組)18
 - (4)中西摩耶選手後援会19
 - (5)「人権集会～先輩に聞こう」の取組20

III その他

- ・このえ学園とは
- ・JASMIN だより(校長だより)
- ・税に関する意識調査

IV 成果と課題

I 研究の概要

1. 学校教育目標と租税教育研究主題

学校教育目標

ともに生き、学び、磨き合う生徒の育成

重点目標

- ① 自立した学習者の育成
- ② 考えをまとめ 伝える力の育成
- ③ 他者と協力する力の育成



租税教育研究主題

自分や地域の未来を見つめ、
主体的に学習に取り組む学習者の育成

研究テーマ

『ともに生きる』

2. 主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

本校の学校教育目標は、「ともに生き、学び、磨き合う生徒の育成～誰一人取り残さない」である。この目標達成のため、「ともに生きる」という視点を大切に、誰もが暮らしやすい町づくりを目指して、各学年が総合的な学習の時間を中心に学習活動を行っている。具体的には、地元である九重町についてしっかりと学ぶことを目的とした「ここのえ学」に基づき、学習者が九重町の地域調べ等を行い、地域の文化を知り、誰もが暮らしやすい町づくりについて考えることを通して、郷土を愛し、郷土に誇りをもてるように取り組んでいる。

(2) 租税教育に関する生徒の実態

本校の生徒は、明るく純朴で、体育祭、合唱祭など各種学校行事や部活動に生き生きと積極的に取り組む姿が見られる。特に体育祭では、3年生のリーダーが中心となって各活動の準備をして、全校の学習者でテーマが達成できるように取り組んでいる。練習の時に、相手をおもいやり励ますための声かけをする支え合い活動や、応援合戦の方法や並び方等を相手にわかりやすく伝えるための工夫をした学び合いが互いの意欲や技術を高めることにつながっている。しかし授業においては、難解な学習課題に出会った際に、課題の追究を諦めるといった学びに向かう意欲の低下が見られる。そこで、「ここのえ学」を基盤とした総合的な学習の時間を充実させ、各教科との関連を図り、探究課題を粘り強く追究することで、郷土への理解を深めるとともに、主体的に学習に取り組む学習者の育成につなげることを意図して、本主題を設定した。

租税教育について学習者にアンケートをとると、税に対する意識が低いことがわかった。「税金に関するニュースをテレビや新聞で見たり聞いたりしたことがあるか」の項目では、「よくある」が20%であった。「あなたが知っている税金はどんなものがあるか」の項目では「消費税・たばこ税・所得税・住民税」など数個があげられたのみであった。地域のことを深く考えるためには、実現可能性や持続可能性、費用対効果といった視点が必要となってくる。目標の達成のために、大分県租税教育推進協議会に依頼し、系統的に租税教室を実施することで、税金の種類やしぐみ、税金は生活の中でどのような役割があるのか等の理解につなげることにした。

指導に当たっては「ともに」、「誰もが」という視点に基づいて、自分たち中学生の立場だけではなく、地域に暮らす高齢者・体が不自由な方々など様々な立場に立って、多面的かつ多角的に暮らしやすい九重町について探究していくように留意したい。そして、その中で税金はどのように使われているか等を考えさせることを通じて、税に対する関心を高め、理解を深めたいと考える。また「単元プラン」を学習者と共有して学習の見通しをもたせたり、行事等で培った支え合いや学び合いの活動を生かした小集団での発表や交流といった言語活動を設定したりすることで、主題の達成につなげたいと考える。

(3)各学年の租税教育の目標

本校では、「自分や地域の未来を見つめ、主体的に学習に取り組む学習者の育成」のために、研究テーマを『ともに生きる』とし、租税教育を通してつけたい力を次の3点とした。

租税教育を通してつけたい力	
①	租税、納税に関する正しい知識と理解
②	社会に積極的に参画し、よりよい未来を築こうとする意欲と態度
③	学びの積み重ねを自分の将来に活かし、それを主体的に友や社会に伝えていこうとする表現力

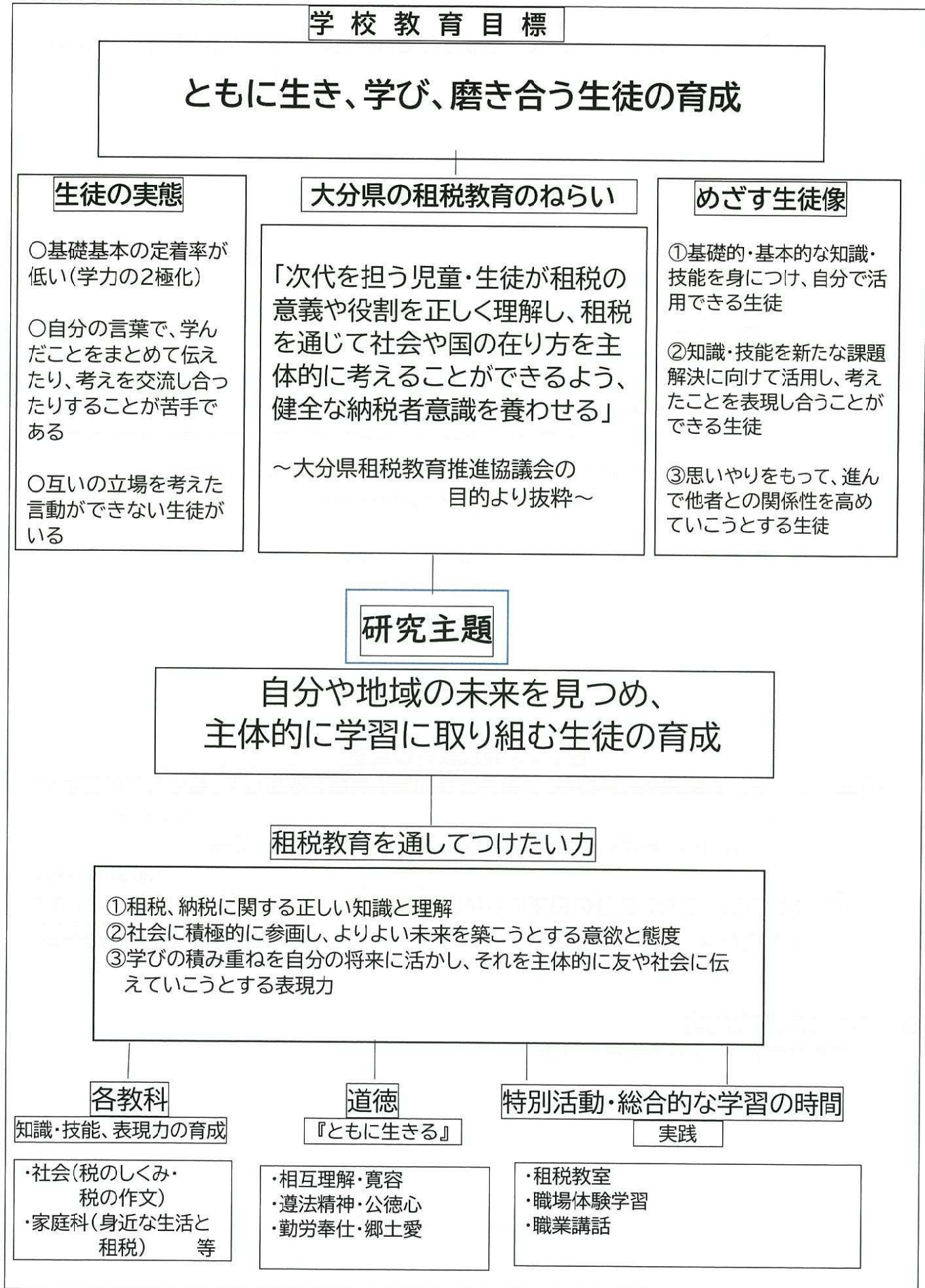
上記の3つの力をつけるために、それぞれの学年で租税教育の目標を掲げた。以下がそれぞれの目標である。

各学年の租税教育の目標	
1年	税について興味関心を持ち、さまざまな知識や情報を収集して、自分たちの生活に活かす (興味関心・知識)
2年	社会に積極的に参画し、よりよい未来を築こうとする意欲と態度 (意欲と態度)
3年	学びの積み重ねを自分の将来に活かし、それを主体的に友や社会に伝えていこうとする表現力 (表現力)

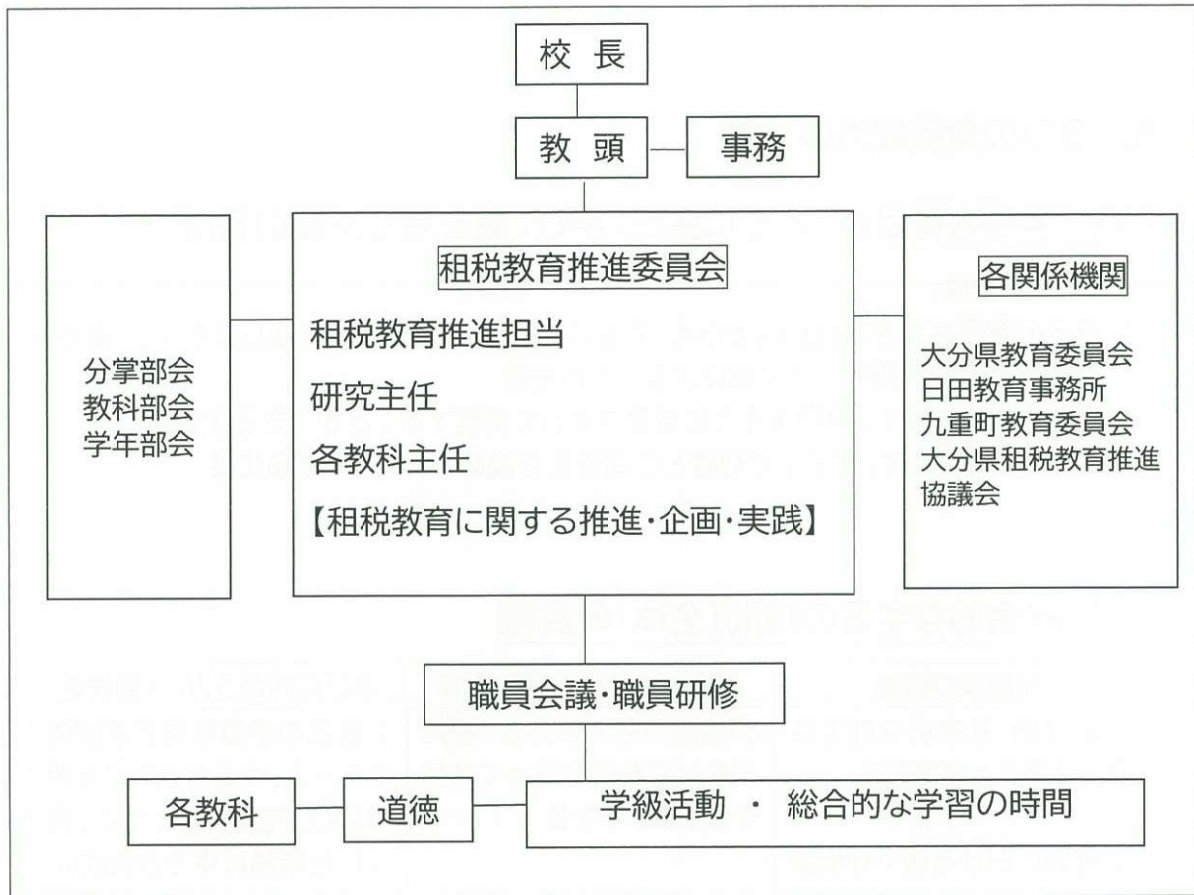
3. 租税教育研究内容

- ①租税教育アンケートの実施と分析
- ②教科：各教科と租税教育との関連する事項の指導と協働学習
- ③道徳：公徳心、社会連帯の自覚を高め、『ともに生きる』社会の実現
- ④特別活動：租税教育や『税の作文』など、社会の一員としての自覚を高める活動
- ⑤総合的な学習の時間：地域の人・もの・ことに関するさまざまな体験活動を通じて、ここのえ学園プランに基づき地域調べ等を通じて主体的に取り組む活動(地域調べ、職場体験、福祉体験、プレゼン発表)

4. 研究の全体構想図



5. 租税教育の研究組織図



① 企画担当

- ・租税教育に関する職員研修の実施にあたり、日程調整を行い、研修計画等を立てる。
- ・各学年租税教室実施にあたり、日程調整・税務署等への連絡を行い、研修計画等を立てる。
- ・消耗品等の購入にあたり、計画を立て見積もり等を依頼する。

② 研究担当

- ・年間計画見直し作成。租税教育の観点からの教科・道徳科を見直し関連を確認する。
- ・税に関する道徳・学活等を行うにあたり、互見授業の計画を立て、実施する。
- ・総合的な学習の時間では、このえ学園プランに基づき地域調べ等を通じて、主体的に取り組む学習活動作りを行う。

③ 広報担当

- ・租税アンケートを実施し、結果分析を行い、学習者の実態把握に努める。
- ・租税コーナーの設置と掲示物を作成する。
- ・租税教室後の学習者感想のまとめを行う。

6. 3つの資質能力の分類

① 学校教育目標 とともに生き、学び、磨き合う生徒の育成

(めざす生徒像)

- 自己の学習状況を客観的にとらえ、やるべきことを明確にし、見通しをもって、限られた時間の中で計画的にやり遂げようとする生徒
- 自分の考えを持ち、根拠をもとに自信をもって発信することができる生徒
- 思いやりをもって、すすんで他者との関係性を高めていこうとする生徒

② 総合的な学習の時間(全体)の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な能力を習得することができる ○社会における様々な場面で活用できる知識として身につけられる ○概念的・構造的知識(言葉で説明ができ、つながっている知識)を身につけられる ○社会の中で生きて働く知識を身につけられる ○課題の解決に必要な知識及び技能を身につける ○地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを持ち、根拠をもとに自信をもって発信することができる ○仮説を立てたり、調査したりして得た情報を基に考えたりする力を身につける ○考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の学習状況を客観的にとらえ、やるべきことを明確にし、見通しをもって、限られた時間の中で計画的にやり遂げようとする ○思いやりをもって、すすんで他者との関係性を高めていこうとする ○探究的な学習に主体的・共同的に取り組む ○互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考える

③ 学年目標

学年	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
1年	○家庭学習の習慣を身につける	○考えをまとめる力の育成	○我慢強く何事にも粘り強く取り組む ○人間関係の構築 ○他者と協力する力 ○自立した学習者の育成
2年	○授業・家庭学習に全力で取り組む	○考えをまとめる力の育成	○自立した学習者の育成 ○他者と協力する力 ○授業・家庭学習に全力で取り組む学年
3年	○授業や家庭学習を大切にす	○考えをまとめる力の育成	○自立した学習者の育成 ○他者と協力する力 ○進路実現のために努力する

④ 総合的な学習の時間の目標(各学年)

学年	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
1年	○九重町の自然や観光の現状がわかる ○高齢者擬似体験を通して高齢者の現状を知る ○情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身につける	○解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている ○問題状況における事実や関係を把握し、理解する ○問題状況の中から課題を発見し設定している	○探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関りを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている ○自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている
2年	○九重町の産業や特産物の特徴がわかる ○障害者擬似体験を通して障害者の現状を知る ○情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応	○目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している ○問題状況の中から課題を発見し設定している ○解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている	○探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重している ○自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている

	じた技能を身につけている	○多様な情報にある特徴を見付ける	
3年	○町づくりや地域活性化の取組に関わる人々の思いや願いがわかる ○町づくりと自分との関わりがわかる ○情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身につけている	○事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している ○問題状況の中から課題を発見し設定している ○解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている	○探究的な活動を通して、進んで地域の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている ○自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている

⑤ 租税教育の目標

学年	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
全体	○税・納税に関する正しい知識 ○郷土への理解を深める ○将来、公民としての諸能力を育成	○郷土の魅力や課題を考察し、発信する力を育てる ○学びの積み重ねを自分の将来に活かし、それを主体的に友や社会に伝えていこうとする表現力を育てる	○勤労を尊び、豊かで美しい環境を作る態度を育てる ○公共物を大切にすることを育てる ○郷土を愛する精神や態度を育てる ○社会に積極的に参画し、よりよい未来を築こうとする意欲と態度を育てる
1年	○さまざまな知識や情報を収集する	○自分たちの生活に活かしていく	○税について興味関心をもつ
2年	○有効利用についての知識や情報を活用する	○自主的に社会に貢献していく	○税について興味関心を高める
3年	持続可能な社会の形成者とし最善策を創造する	最善策を創造、発信し、表現する	○税について興味関心を広げる

7. 租税教育カレンダー

令和3年度 年間単元指導計画 (租税教育カレンダー)

第1学年

教科	月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 時数
国語	1 褒かに想像する 新の「レ」 電 グループディスカッション	2 わかりやすく伝える ペンキの防着 ケンラの飲み水	2 わかりやすく伝える 調べたことを整理してわ かりやすくまとめる	3 ものの見た・感性を養 う 文法の窓 体幹に向き合い意味づけ る	4 論理的に考える 文脈 スピーチ	5 古典に学ぶ 竹取物語 故事成語一語一 一	6 情報を整理した書き方 視点のまとめ 家内の手紙を書こう	7 読みを深めよう それだけでいい 読書 トロピコ	8 視野を広げる 意味と意図 意図 意図	9 振り返って考える 少年の日の思い出 グループ新聞	※年間20単位時間程度		140
	書写	小学校の学習を振り返 ろう	点面の書き方を字形的に整え 仮名の書き方を整理し て	文字の大きさと配列	情報を整理した書き方 視点のまとめ 家内の手紙を書こう	点面の連結 点面のまとめ	点面の連結 点面のまとめ	点面の連結 点面のまとめ	点面の連結 点面のまとめ	点面の連結 点面のまとめ	職場訪問をしよう		
社会	地理	世界の地図	日本の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	世界の地図	105
	歴史	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	歴史へのとびら	105
数学	正の数と負の数	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	文字と式	140
	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	比例と反比例	140
理科	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	観察観察	105
	単元1 生物の世界	単元2 物質のすがた	単元3 身近な物理現象	単元4 大地の変化	単元5 身近な物理現象	単元6 身近な物理現象	単元7 身近な物理現象	単元8 身近な物理現象	単元9 身近な物理現象	単元10 身近な物理現象	単元11 身近な物理現象	単元12 身近な物理現象	105
総合	○九重町の特徴を考える。 ○高齢者に優しい町づくり	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	○地域の文化と他国の文化について考えたり、日本の 伝統や文化について発信したりする。	50
	特活	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	中学校生活への期待 中学校生活への期待	35
道徳	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	道徳の授業を始めよう！ 自分で決めるって？ 三百六十五×十四回分の 「ありがとう」	35
	外国語	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	Starter1・2・3 Get Plus About Me	140
音楽	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	思いがけぬ合唱 （しよ）	45
	美術	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	うつろい 美術って何だろう？	45
技術	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	技術分野のガイダンス	70
	家庭	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	家族・健康生活	105
保体	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	105
	①税・納税に関する正しい「知識及び技能」 ○さまざまな知識や情報を収集する	②社会に積極的に参画し、よりよい未来を築いていくこととする 「思考力・判断力・表現力等」 ○自分たちの生活に活かしていく	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心をもち	105

令和3年度 年間単元指導計画 (租税教育カレンダー)

第2学年

教科/月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 時数	
国語	1. 豊かに想像する 名づけたら楽 てコロクボームルーム グループディスカッション	2. わかりやすく伝える じゅんけんはなせ 人間はどの道に住むこと できるのか 手紙・メール	3. ものの見方・感性を養 う 道徳の世界 道徳・偉人 文法の手紙	4. 論理的に考える 100年後の水を守る プレゼンテーション	5. 古典に学ぶ 新古今・源氏物語 源氏物語 漢詩の世界	6. 構構を調成つはる 複数の構構を調成つはる 基本構構に調成つはる 自立した構構を調成つはる こと	7. 読みを深めよう 大団圓 小さな手紙 創作文	8. 構構を出せる 動物園でできること 漢字の仕組み 読解文	9. 読みを深めよう 足利口 情報誌 地域の魅力を掘り出して				140
書写	点面の省略	筆順の変化 行書のまわり②	行書と仮名の調和	行書に調和する仮名	仮名と行書の使い分 け			種類や目的に応じた書き方 行書のまわり③ 書き始めのしよ	防災訓練に参加しよう		※年間10単位時間程度		
社会	日本の地理的特色	近世の日本① 近世の日本② 近世の日本③	日本のさまざまな地域	九州地方 中国・四国地方 北海道地方 北陸道地方 関東地方 東北地方 身延な地域の調査	近畿地方 中部地方				地域の在り方			105	
数学	式の計算	連立方程式	一次関数	図形の性質と合同	三角形と四角形				データの分布と確率			105	
理科	継続観測	単元1 化学変化と原子・分子	単元2 生物の体のつくりとはたき	単元3 電流とその利用	単元4 気象のしくみと気候の変化							140	
総合	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	○働くことの意義や目的を考える。 ○障害者に優しい町づくり	70	
特活	主役は2年生! みんなが活躍する理由 みんなが活躍する理由	集団生活をよくするた 理由 みんなが活躍する理由	安全な生活を守るた 理由 みんなが活躍する理由	1学期の反省 夏休みの生活 2学期の出発 体育大会への参加 進路情報集めてみよう	合唱コンへの参加 中学校生活、振り返り 不安や悩みに向き合 お	みんなの個性 2学期の反省 新しい年を迎えて 社会に生きる さまざまな「性」について	「啓蒙」の社会 共生社会形成のために	中3の自分 属上級生へのステップ				35	
道徳	道徳の授業を始めよう! テニス部の危機 カラカラカラ	明日、みんなが着よう 深めたいわ 命が生まれるそのときに 許せないよね	あと一歩だけ、前に 進めたいわ 秀さんの心 段ボールベッドへの思い	夢中になるのは悪いこと 私の中の スライツリーにかけた夢 段ボールベッドへの思い	深い心 「株太郎」の勇退 つなげる命 優しい光線	手紙の始まりに思いを寄せて 人って、本当は? 夢の力 深めたいわ	嫌われるのを恐れる気持ち 泣きすぎてはいけない 道徳の学びを振り返ろう					35	
外国語	Starter Peter Rabbit	Take Action Get Plus MY Dream	Take Action Project Get Plus	Take Action Uluru	Take Action Get Plus Project	Tea from China Get Plus	Take Action Get Plus Rakugo Goes Overseas	Take Action Project Reading for Fun				140	
音楽	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	曲の構成やリズム リズムの構成 リズムの構成	35	
美術	うつくしい メッセージを伝える	メッセージを伝える	運動感を伝える	季節感のある暮らしを 楽しむ	風景に思いをよせて さまざまな構構のデザイン				絵巻物に意図の表現	意図を伝える		35	
技術	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	70	
家庭	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	生物育成の技 生物育成の技	105	
保健	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	体づくり運動 体育理論	105	
[租税教育 の目標]	①税・納税に関する正しい「知識及び技能」 ○有効利用についての知識や情報を活用する	②社会に積極的に参画し、よりよい未来を築いていこうとする 「思考力・判断力・表現力等」 ○自主的に社会に貢献していく	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税についての興味関心を高める										

令和3年度 年間単元指導計画 (租税教育カレンダー)

教科/月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 時数	
国語	1 豊かに想像する 岩が 樹が ことは象徴① 辞書の活用 グループディスカッション 漢字を身につけよう①	2 わかりやすく伝える 「批判的に読む」とは 間の文化 課題作文 漢字の仕組み 四字熟語 漢字を身につけよう②	3 ものの方向・感情を養う 俳句の世界 俳句十句 言葉発見② 和語・漢語・外来語 希望 私の読書体験 合同の意へ 漢字を身につけよう③	4 論理的に考える フロイトの物語 言葉発見③ 俳句句、こと わざ・故事成語 批評文 漢字を身につけよう④	5 古典に学ぶ 和歌の世界 万葉集・古 今和歌集・新古今和歌集 おくのほそ道 漢書の現 在・過去・未来 漢語	6 情報を整理する 漢字一筆で整理すると パブリックスピーチと 読者の情報を整理する て書きを学ぶ 漢字を身につけよう⑤	7 読みを深めよう 初恋 言葉発見④ 相手の手や脚に 配慮した言葉遣い 祝福 読書活動 プラットフォーム 漢字を身につけよう⑥	8 視野を広げる 「文殊の知恵」の時代 坊っちゃん 名言集 中学校生活を振り返って 漢字を身につけよう⑦⑧	9 読みを深めよう 書き初めをしよう	10 読みを深めよう 書き初めをしよう	11 読みを深めよう 書き初めをしよう	12 読みを深めよう 書き初めをしよう	140
書写	身の回りの文字の目的と工夫	手書き文字の特徴	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	書き文字の目的と工夫	140	
歴史	導入	二度の世界大戦と日本 ①②③④ まとめ	現代の日本と私たち ①②③④ 歴史のまとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	140	
公民	導入	二度の世界大戦と日本 ①②③④ まとめ	現代の日本と私たち ①②③④ 歴史のまとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	現代社会と私たち ②③④ まとめ	140	
数学	式の展開と因数分解	平方根	平方根	二次方程式	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	140	
理科	継続観測	単元1 運動とエネルギー	単元2 生命のつながり	単元3 自然のつながり	単元4 化学変化とイオン	単元5 地球と宇宙	単元6 地球の明るいまえのために	単元7 地球と宇宙	単元8 地球の明るいまえのために	単元9 地球と宇宙	単元10 地球の明るいまえのために	140	
総合	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	○町づくり、地域活性化に向けて何が出来るだろうか。 ○子育て支援～町への提案	70	
特活	中学校生活最後の1 最後の中学校生活の糸 記憶に残る学校行事 道徳の授業を始めよう! 礼儀正しさとは 背番号10	「休み」後有効に活用 悩みや不安の解消 自分らしさ、友だちらし 二通の手紙 あの日 生まれた命 三年目の「ごめんね」	社会を支える一員として 男女が活躍する社会 支え合う人間関係 深めたいわ! 小さな出来事 「リクエスト」を支える サグラダ・ファミリア	ボランティア活動 さまざまな危機 1学期の反省 妹網アトムをつくりたい 一人工知能研究は人間探 かんばれば おまえ 一筆を投じるこの意味	2学期への出発 体育大会への参加 自分の野菜に係わる性 私の思い出 足袋の季節 障子あかり 家族って?家族って?	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	食生活の充実と安全 共生社会の形成 先輩の体験に学ぶ 関の中の炎 深めたいわ! ほくの物語 あなたの物語 深めたいわ!	35
道徳	Starter Stand by Me	Take Action Project Languages in India	Take Action Project The Story of Sadako	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	35	
外国語	Stand by Me	Take Action Project Languages in India	Take Action Project The Story of Sadako	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	Take Action Project I Have a Dream	140	
音楽	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	日本の歌はかやみと結び、歌 家理を工夫しよう	35	
美術	わかりやすく情報を伝える	環境とともに生きる彫刻	ケルニカ、明日への願 い	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	あれ?どうなっているの 心算らく構をつくる	35	
技術	幼児の生活と家族	A 家族・家庭生活	C 消費生活・環境	情報の技術	情報の技術	情報の技術	情報の技術	情報の技術	情報の技術	情報の技術	情報の技術	35	
家庭	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	105	
保健	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	105	
【租税教育 の目標】	①税・納税に関する正しい「知識及び技能」 ○持続可能な社会の形成者として最善策を創造	②社会に積極的に参画し、よりよい未来を築いていこうとする 「思考力・判断力・表現力等」 ○最善策を創造、発信し、表現する	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる	③ふるさと九重町を誇りにもち、それを土台に未知の状況に対応できる「学びに向かう力、人間性等」 ○税について興味関心を広げる		

8. 研究の経過(令和2年度)

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
4	16	木	・研究推進委員会(研究計画)	11	16	月	・租税教育研究校宇佐市立和間小 学校視察(校長・松成主幹・矢治 教諭)
	20	月	・運営委員会(学習規律)				
5	11	月	・校内研(研究主題・研究の流れ)				
	14	木	・研究推進委員会(研究組織について)	20	金	・研究推進委員会 (租税アンケート計画)	
	18	月	・運営委員会(研究主題の具現化)				
6	9	火	・租税教育委嘱交付式	30	月	・運営委員会(租税教室について)	
	10	水	・校内研(研究計画)	12	2	水	・校内研(生徒支援の方法)
	12	金	・研究推進委員会 (各学年租税教育について)	3	木	・研究推進委員会(2学期のまとめ)	
	15	月	・運営委員会(租税教計画)	1	7	月	・運営委員会(3学期の計画)
	30	火	・租税アンケート(全学年)	13	水	・互見授業(矢治教諭1年国語)	
7	3	金	・租税教室(3年生・大分税務署)	15	金	・互見授業(沢田教諭2年道徳)	
	15	水	・校内研(研究体制)	19	火	・互見授業(飯田教諭2年英語)	
	17	金	・研究推進委員会(アンケート分析)	20	水	・互見授業(日野教諭1年数学)	
	20	月	・運営委員会(租税教室の振り返り)	21	木	・互見授業(井上教諭1年数学)	
8	5	水	・校内研(研究組織)	2	2	火	・互見授業(沓掛教諭あおば1国語)
	6	木	・研究推進委員会(1学期のまとめ)	4	木	・互見授業(加藤教諭1年英語)	
	31	月	・運営委員会(2学期の計画)	5	金	・互見授業(村田教諭2年国語)	
9	14	月	・運営委員会(租税教育研修について)	8	月	・互見授業(穴井教諭2年数学)	
	23	水	・租税教室 (1年対象 講師大分税務署)	9	火	・互見授業(若杉教諭あおば1作業)	
			・校内研究(租税研修)	10	水	・互見授業(秋吉教諭2年英語)	
	24	木	・研究推進委員会(租税教室について)	22	月	・運営委員会(授業研究について)	
10	7	水	・租税教室(2・3年講師大分税務署)	24	水	・租税アンケート(全学年)	
	9	金	・研究推進委員会 (租税教室について)	3	1	月	・運営委員会(今年度のまとめ)
	12	月	・運営委員会(租税教室のまとめ)	8	月	・互見授業(高岡教諭2年理科)	
11	11	水	・租税教室 (1・2年 大分財務事務所)	10	水	・互見授業(阿部教諭1年社会)	
			・校内研(租税教育研修、研究計画)	11	木	・互見授業(穴井教諭1年体育)	
				12	金	・互見授業(三重野教諭1年音楽)	
						・互見授業(松成教諭1年理科)	
				15	月	・互見授業(黒川教諭1年社会)	

研究の経過(令和3年度)

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
4	13	火	・研究推進委員会(研究計画)	9	24	金	・互見授業(高岡教諭 1年理科)
	21	水	・運営委員会(研究役割分担)		29	水	・租税アンケート(全学年)
	28	水	・大分税務署打合せ(租税教室)				・提案授業兼初任研提案授業 (釘宮教諭 1年英語)
5	12	水	・校内研(租税教育研修)				・研究推進委員会 (各学年の進捗確認)
	19	水	・分掌会議(研究内容の確認)				
	31	月	・研究推進委員会(研究の方向性)				
6	2	水	・租税教育研修 (研究の方向性の確認)	10	6	水	・校内研修(研究会指導案検討)
	15	火	・互見授業(黒川教諭3年社会)		7	木	・互見授業(加藤教諭 2年英語)
	16	水	・九重町選挙管理委員会打合せ	8	金	・互見授業(沓掛教諭 1年国語)	
	18	金	・租税教室	13	水	・研究推進委員会(指導案検討)	
	21	月	・提案授業(阿部教諭 1年社会)	20	水	・運営委員会(各学年本時案確認)	
			・九重町社会福祉協議会打合せ	25	月	・初任研提案授業兼互見授業 (村田教諭 3年国語)	
	24	木	・擬似体験学習 (九重町社会福祉協議会)	27	水	・運営委員会(各学年本時案確認)	
				11	1	月	・運営委員会(各学年本時案確認)
7	6	火	・互見授業(日野教諭 3年数学)	4	木	・研究推進委員会(研究報告書確認)	
	20	火	・租税アンケート(全学年)	5	金	・互見授業(飯田教諭 3年英語)	
	30	水	・提案授業(阿部教諭 1年社会)	8	月	・運営委員会(研究役割分担の確認)	
8			・大分税務署引継ぎ (新旧研究内容の確認)				・研究推進委員会(当日の日程確認)
	20	金	・校内研(各学年単元作り)				・研究発表会打合せ会 (税務署・県教委・日田教育事務所 ・町教委等)
		水	・研究発表会打合せ会 (税務署・県教委・日田教育事務所・ 町教委等)	10	水	・研究推進委員会(配布資料の確認)	
	23	月	・ピアサポーター養成講座	11	木	・研究推進委員会(研究会会場設営)	
	24	火	・ピアサポーター養成講座	12	金	・令和2・3年度大分県租税教育推進 協議会委嘱『租税教育公開研究発表 会』	
	1	水	・研究推進委員会(2学期の計画)				
	3	金	・「税の作文」				
	8	水	・校内研究推進委員会 (校内研修の内容提案)				
9	13	月	・運営委員会(研究会案内文書検討)				
	22	水	・研究推進委員会(各学年の進捗確認)				

II 実践の記録

1. 租税教室

(1)租税教室【令和2年度】

①租税教室(7月3日(金) 3年生対象)

大分税務署の広報公聴官を講師に迎えて、「税金の集め方と使い方」について、学習した。『どうしたらみんなから税金を公平に集めて、集めた税金を公平に使えるか』というワークショップを行った。ヒントが「私たちが主人公・思いやり」、期限は「大人になるまで」。税の役割や必要性を楽しみながら理解していった。



②租税教室(11月11日(水) 2年生対象)

財務省九州財務局大分財務事務所より2名の講師を迎えて、グループワーク形式で学んだ。『日本村の予算を考えよう』というテーマで、治安・医療・教育などの現状分析をもとに、協議を進めた。架空の日本村の予算編成をする過程では、歳出や税収の移り変わりなどに着目し「今後、どのようにして資金(お金)を集め、そのお金をどのように使えば、日本村の未来をよりよくできるか」をシミュレーションしながら、財政の仕組みや税金の有意義な使われ方などについて、学習を深めることができた。



(2)租税教室【令和3年度】

① 租税教室(6月18日(金) 1年生対象)

大分税務署の方々が来校し、税金の種類や使用方法などについてのお話をいただいた。その後、「税金がなくなったら」という DVD を観て、最後に1億円に見たてた紙の塊を全員が持つ体験をした。



② 租税教室(6月29日(火) 3年生対象)

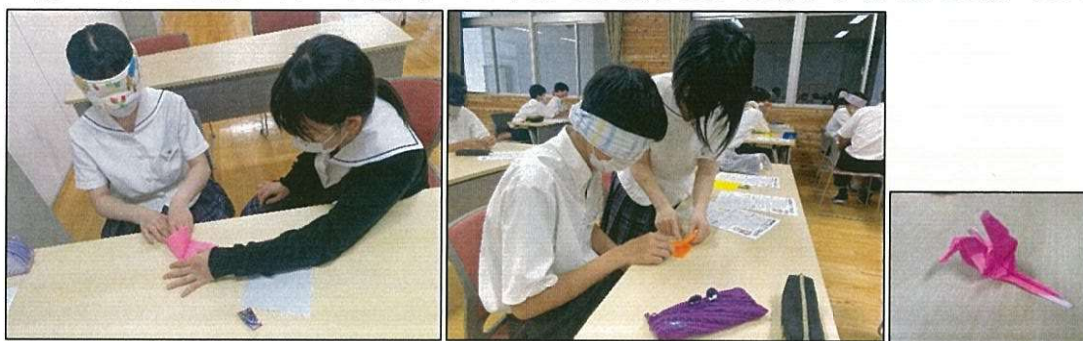
大分県選挙管理委員会の方による「選挙出前授業」を受講した。なぜ、選挙をするのか、投票率の状況、選挙制度(投票するためには?その方法は?)について学んだ後、実際に模擬選挙を行った。まず2人の候補者の演説を聞き、どちらが町長にふさわしいかを考えて、実際の選挙と同じように体験していった。

私たちのより良い生活や社会福祉の充実、高齢化社会に向けた安心できる社会の実現のためには、租税を中心とする財政政策が重要であり、その政策決定に直に関わる政治家を選ぶ選挙は、主権者としての権利であり義務であるということを詳しく学んだ。

2. その他

①「視覚しょうがいしゃ」の擬似体験（6月24日(木)2年生対象）

九重町社会福祉協議会の方々が来校し、視覚障害者の擬似体験を行った。アイマスクをつけて目隠しをした状態で折り紙を折ったり、飴を食べたりした。事前に飴の味を分かったうえで食べるのと、分からない状態で食べるのとでは味の感じ方が変わったり何味かわからなかったりするなどの気づきがあった。全て手伝ってあげるのではなく、相手の様子を見ながら必要に応じて介助をする方法を学んだ。最後にヘルンケラーからのメッセージを読んで、もし自分の目が不自由になったらどう感じるかを改めて考えることができた。



②高齢者擬似体験（7月14日(水)2年生対象）

九重社会福祉協議会の方々が来校し、車いす介助の擬似体験をした。初めに、車いすの種類や各部の名称などについて説明を受け、介助方法を教わった。坂道や段差のあるところでの留意点を確認した後、二人一組になって車いす介助を体験した。障害物のよけ方や声のかけ方などどうしたら安全に介助できるのかを一人一人が考えながら実践することができた。



3. 「ともに生きる」実践

(1)「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの取組

①活動内容

令和2年度9月にユニクロの方を講師に招き、「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの出前授業を全校で受けた。その中で学習者は SDG's の内容やこのプロジェクトが子ども服の回収をして、難民の子どもたちへ届けていることを学んだ。その授業の後、着なくなった子ども服の回収を呼びかけたところ保護者の方の協力をいただきながら、段ボール 13 箱の子ども服を回収することができた。また1年生は難民の方へのメッセージも書き、服とメッセージと一緒にプロジェクトへ発送した。令和3年度は1年生が同じ出前授業を受け、服の持つ力と SDG's について学んだ。今年度は生徒会執行部が全校の保護者と地域の公民館に子ども服の回収を呼びかけ、昨年度の活動を継続している。今後もこの取組を継続していきたい。



②ユニセフ募金の取組

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの取組に続いて、生徒会でユニセフ募金の取組を行った。SDG's の「誰一人取り残さない世界」を目標に活動を行った。生徒玄関で一人ひとりに地道に呼びかけを行った。その後ユニセフから感謝状が贈られた。



(2)ピア・サポーター養成講座

①日 時 令和3年8月23日・24日 場所 多目的室

②講座内容

全5時間の講座を受けると緑陽中公認のピア・サポーターになれる取組。「ピア・サポーターとは何か」「聞き上手になろう」「事実と気持ちの理解」「要約の技法」「上手な頼み方・断り方」「アイメッセージを使った伝え方」「閉じた質問・開いた質問」などを講座内容とした。第1回ピア・サポーター養成講座では8人が受講し、認定された。今後は、ピア・サポーターを増やして仲間どうしで支え合える学校になることをめざしている。

③ピアサポーター募集

(呼びかけの内容)

みなさんにお知らせがあります。今日チラシをみなさんに配りますが、緑陽中ピア・サポーターを募集します。「ピア・サポーター」って何でしょう？ピアサポートをする人です。ピアとは仲間という意味、サポートとは支えるという意味です。つまりピアサポートが仲間を支える活動なので、ピア・サポーターは仲間を支える活動をする人です。その仲間を支える活動を率先して行う生徒を募集します。この活動を行うためには、ちょっとしたコツが必要です。仲間の悩みを聞いたり、相談に乗ったりする活動を2年生はいじめ撲滅委員会で行っていますが、そういった相談を受けるのにもコツが必要です。そのコツを学んで、緑陽中の「ピア・サポーター」として活動してもらいたいと思います。そのコツを学ぶ「ピア・サポーター養成講座」として、8月23日と24日の午前中に開催したいと考えています。この講座に参加した人には「緑陽中ピアサポーター認定証」を渡します。そしてバッジをつけてもらって、活動してもらいたいと考えています。

(ピアサポーター・認定証書)

認定証書

殿

あなたは緑陽中学校が主催する
ピアサポーター養成講座を受講し
ピアサポーターとしての理論実技
の全課程を終了されました
ここに緑陽中ピアサポーターとし
て認定しましたことを証明します

令和3年8月24日
九重町立このえ緑陽中学校
校長 時松栄子

ピアサポーター募集
Q: ピアサポーターってなに？

よきことで、助け
あわせてくれるん
しんがいて、
ほめてくれて
るん。

みんなが悩んでいること
でも、ピアサポーターが、
相談できるよ。

募集期間：8/6(金)～8/18(水)
ピアサポーター養成講座：8/23・8/24
全5時間の授業をうけて、緑陽中公認のピア
サポーターになろう！ 仲間どうしで支え合え
る、そんな学校にするために、ピアサポーター
になってみませんか？

※興味のある方は、校長先生が小高平まで、お知らせください。

ピア・サポーター
認証バッジ

(3)人権集会(ピンクシャツデーの取組)

①日 時 令和3年2月 25 日(木)5・6限 場所 文化センターホール

②活動内容

ピンクシャツデーとは、2007 年カナダの2人の学生から世界中に広まった世界的いじめ撲滅運動。現在では 70 カ国以上の国で活動が行われている。世界中で毎年 2 月の最終水曜日に皆がピンクのシャツを着て一つになり、「いじめや差別に負けないで輝こう」というレディーガガの「Born This Way」を踊るチャリティーイベントが開催されている。本校でもこの趣旨に賛同して 2 月の最終水曜日をはさむ一週間をピンクバンダナ週間として、いじめ反対の意志をピンクのバンダナを身につけることで表している。

③人権集会の流れ

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 人権集会の意義の説明 | 2. クラスの取り組み発表 |
| 3. 映画上映「バレンタイン一揆」 | 4. 「Born This Way」ダンス披露 |
| 5. これからの活動 | 6. ふりかえり |

④映画「バレンタイン一揆」の内容

映画「バレンタイン一揆」は、チョコレートの生産で有名なアフリカのガーナで、多くの子どもたちがカカオ農園で働かされている、「児童労働」という問題に日本の女の子三人が出会う物語。服のチカラプロジェクトの中でもあった SDG' s の目標の中にも「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「働きがいも経済成長も」とかかげられている。この映画を観て、誰ひとり取り残さない世界の実現に向けて私たちにできることは何かを考えていった。

(学習者の感想)

・私は最近心の中で、世界で働いている子ども達に対して、何か手伝えることや、もっといろいろな世界、景色、幸せを一緒に見るためにできることがありました。将来世界でボランティア活動をしたいと思っていたけれど「自分は英語が話せないし…」とか「途中で危険なことがあったらどうしよう」という思いでごまかしていました。でも今日見た映画の3人は高校生や大学生でした。彼女たち3人は、村で現実を知りそれを日本に伝えました。とてもすごいと思いました。行動できるだけの強い意志があったのだと思いました。



(4)中西摩耶選手講演会 演題「あきらめない心」

①日時 令和2年12月4日(金) 場所 文化センターホール

②講演内容

パラ陸上のプロ選手である中西摩耶選手が「あきらめない心」という演題で明豊高校に進学した時の逸話や事故にあい右足を切断して義足をつけるまでの心の葛藤、日本代表になりたいという夢をあきらめずに努力を続けてきたこと等を熱く講演された。

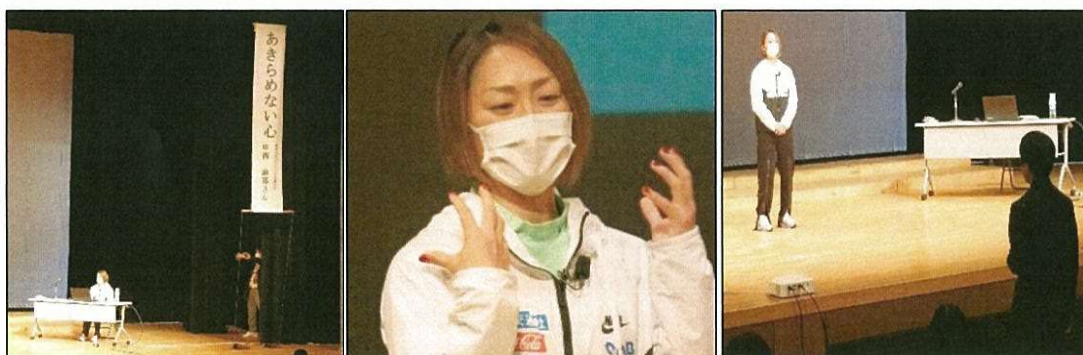
③学習者の感想

・私は中西さんのお話を聞いて私もこんな風に生きたいと思いました。中西さんの苦労とか努力とか、決意とかいろんなお話を聞くことができうれしかったです。自分の夢に責任と決意をもって進みたいと改めて思えました。

・今日のお話を聞いて一番心に残っている言葉は「自分だけだと思わないようにする」です。私は何かあると「なんで自分だけ」と思うことがあるので、今後は「私だけじゃないんだ」と思い頑張っていこうと思いました。中西選手の行動力のすごさは物事をマイナスにとらえるのではなく、その状態になって「何ができるか」と考えていることなんだと感じました。

・足を失ったことにより、周囲からの差別的な視線や発言に心を痛めていたと聞いて、ぼくが今まで何となく抱いていた「しょうがいしゃ」の人はかわいそうという感情が結果的に「しょうがいしゃ」を傷つけてしまっているのだなと気づかされました。足を失ってもスポーツは続けたいという強い意志に感動したし、その努力の結果アジア記録や金メダルなどをとれたのはすごいと思いました。今日は辛いことがあっても希望を持ち続けるということを学びました。

・辛いことがあっても、あきらめない大切さを学びました。また何かの判断をする時に初めから答えが出ていると言っていたことが心に残りました。私は判断する時自分の答えに自信が持てずに、すぐに人に聞いて流されてしまうので、中西さんのように自分の答えに自信が持てるようになりたいです。



(5)「人権集会～先輩に聞こう～」の取組

①活動内容

令和2年度12月14日の人権集会では、緑陽中学校出身で高校3年生の佐藤主理さんをゲストティーチャーに迎えた。佐藤主理さんが6年前中学校1年生の時に学年のトイレに何度も悪口を書くという事件が起きた。主理さんたちはその落書きをいじめととらえ、何とか落書きをなくすために自分たちで「いじめ撲滅委員会」を立ち上げた話をしてくれた。取組をすすめるうちに、落書きをする人に対するの怒りよりも、その人の気持ちに寄り添おうという気持ちへ変化していったことを語ってくれた。

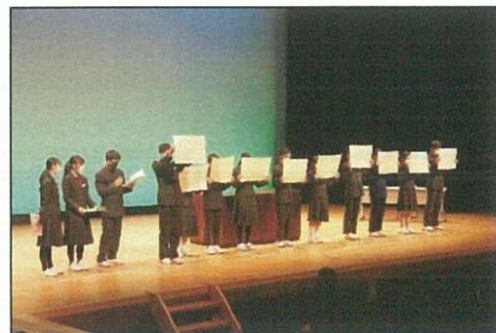
②佐藤先輩のアドバイス

いじめ撲滅委員会を立ち上げるためには、みんなの気持ちに寄り添って活動することが大事。いじめは悪いことであり、絶対に許されない行為である。しかし、いじめてしまった人も何か悩みやトラブルがあったかもしれない。やってしまった原因を見つけて、救ってあげられるような活動をしてほしい。また、始めたら根気強く活動してほしい。事件やトラブルが起きることがあっても、それでも続けてほしい。いつか必ず変わるときがくる。

③いじめ撲滅十か条

集会の中で当時の生徒会が作った緑陽中いじめ撲滅十か条の確認

- 1 積極的に人とあいさつします
- 2 互いに助け合い感謝します
- 3 人を尊重し思いやりの心を持ちます
- 4 自分の行動に責任を持ちます
- 5 軽い気持ちで悪い話にのりません
- 6 信頼できる友達を持ちます
- 7 その友達の頼れる友達になります
- 8 常に人のいいところを見つけます
- 9 みんなの気持ちを知ることのできる話し合いの場を大切にします
- 10 行事や活動を中心にみんなが笑顔になれる学校を創ります



Ⅲ その他

ここのえ学園とは

①ここのえ学園基本計画の概要

九重町の進める「ここのえ学園」とは… 2019.4.

「ここのえ学園」は、九重町第4次総合計画にもとづき、九重町の抱える教育課題を解決するために、こども園・小、中学校・公民館を中心に保護者・地域住民・各種団体が協働して取り組むコミュニティの創造をめざしています。すなわち、「約 1,000 人の子どもの教育を、約 100 人の教職員が、約 10,000 人の町民とともに進めていく」ことをめざしているのです！

九重町第4次総合計画

- ☆「日本一の田舎づくりプロジェクト」
- ☆「定住人口1万人プロジェクト」

九重町教育大綱

- ☆「豊かな人間性を育むまちづくり」
- ☆「教育分野の課題解決と教育内容の充実をめざす」

教育行政基本方針

- ☆「ふるさとに学び 夢や志を抱き、ふるさと九重を大切にす り ひとづくり」

「ここのえ学園」のスローガン

「子どもたちの「15の春」のあるべき姿をめざして教育改革に取り組む」

「ここのえ学園」をめざす「15の春」の姿

- ☆ 将来の夢を持って、自己実現に向かう力を育てること
- ・基礎・基本の学力の育成
- ・自己実現できる気力・体力の育成
- ・自己決定力の育成
- ☆「ふるさと」九重町を大切にす り 心を育て
- ・多様な観点から自分と郷土（九重町）を見ることができ り 力の育成

九重町の教育の8課題

- ① 予想を上回る急激な少子化による小規模校・極小規模校化
- ② 地域との連携の不十分さ
- ③ 個人や学年による学力の差
- ④ 自己肯定感・自尊感情の低さ
- ⑤ いじめ・不登校への対応
- ⑥ 幼・小・中における系統的な人権教育と特別支援教育
- ⑦ 保・幼・小の連携、小・中の接続及び就学前教育の充実
- ⑧ 地域人材の活用が不十分

改善に向けた具体的な取組

- ① 小学校の同一学年が中学校に集まり行う「**集合学習**」
■音楽・体育・外国語などでクラスを再編成し（6小学校児童混成）学習効果をめざした授業の実施
- ② **教育課程の見直し**（カリキュラムマネジメント）
■ふるさと九重を学ぶ「**ふるさと学**」の導入
■地域住民との協働による体験学習の充実
- ③ **こども園と小学校の連携**（カリキュラムの見直し）
■計画的な交流活動「**つながり学習**」を実施し、小学校との接続をスムーズにする
- ④ **地域との連携**（公民館を中心とした交流の促進）
■学校支援地域本部の活用と人材バンクの充実
■公民館・各種団体・こども園・学校の地区を越えた交流
- ⑤ **小・中間の教員の乗り入れ指導**（未実施）
■児童生徒理解と専門教科指導の充実
- ⑥ **人権教育指導計画の見直し**
■こども園、小1～中3迄の系統的な指導
- ⑦ **教科指導力の向上**（未実施）
■小・小間、小・中間教員による指導方法の相互交流
- ⑧ **生徒指導の共有**（いじめ・不登校問題など）
■生徒指導上の諸問題の共有と統一した指導と連携
- ⑨ **こども園の子育て支援の機能の充実**
■幼保一体型総合こども園で充実した保育・教育の提供
■子育て支援拠点事業における相談活動の充実

期待される効果

【子ども・保護者にとっては】

- ☆適正規模人数での授業
- ☆小1プロブレムの緩和
- ☆中1ギャップの緩和
- ☆協調性や社会性の育成
- ☆多様な価値観に触れる機会の増加
- ☆競合意識の育成
- ☆心豊かな子どもの育成
- ☆ふるさと九重についての愛郷心の育成
- ☆安心して子育てができる環境の提供

【教師にとっては】

- ★指導方法の共有
- ★教員の指導力向上
- ★幼・小・中教諭の連携
- ★9年間、15年間の切れ目のない指導
- ★地域との連携による信頼関係と学校教育への好影響

【地域にとっては】

- ※地域と学校の良好な関係の構築
- ※地域活動への子どもたちの参画と積極的な参加
- ※地域の担い手育成をめざした学校教育へ参加





ご意見・ご質問がありましたら、右記にご連絡ください。（問い合わせ先）九重町教育委員会 教育振興課（76-3812）

②総合的な学習の時間「このえ学」 共通テーマ・学習内容 計画

学年	3年生	4年生	5年生	6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
このえ学園 このえ学園に関するテーマ・学習単元例	<p>*身近な地域の特色</p>	<p>*文化・伝統 *いのち</p>	<p>*地域の環境・産業・安全から選択して実施</p>	<p>*将来の夢</p>	<p>*九重町の特色</p>	<p>*歴史 *仕事</p>	<p>*町づくり *進路</p>
	<p>身近な地域のじまんを探して、紹介パンフレットを作ろう。</p> <p>校区の梨を育てる体験を通して、PRしよう。</p> <p>身近な温泉を調べて、多くの人に知らせよう。</p> <p>地域の生き物について調べ、マップを作ろう。</p>	<p>地域のお祭りを調べて、参加しよう。</p> <p>麻生観八について調べ、記録を残そう。</p> <p>地域の太鼓を聞き、自分たちも演奏しよう。</p> <p>二分の一成人式で自分の成長を振り返ろう。</p>	<p>ブルーベリー生産について調べ、プレゼンしよう。</p> <p>地域の安全(防災)について調べ、安全マップを作ろう。</p> <p>地域の観光について調べ、観光プロジェクトを作ろう。</p> <p>地域に生息するホタルについて調べ、ホタルを増やそう。</p>	<p>地域の人へのインタビューを通して、自分の夢を描こう。</p> <p>いろいろな職業について調べ、働くことについて考え発表しよう。</p>	<p>九重町の特徴(自然・観光・仕事・食文化・祭り・史跡など)についてグループごとに調べ、その良さを発信しよう。</p> <p>地域見学に行こう。</p>	<p>平和について地域の方から学び、記録に残そう。(修学旅行の広島につなげる)</p> <p>地域の職業や産業について調べ、地元で働く人たちや高校生(卒業生)と交流しよう。</p>	<p>職場体験学習を通じて、自身の進路について考えよう。</p> <p>九重町の長所と課題をまとめ、人が住みたくなる(来たくなる)九重町にするための町づくりプランを作ろう。</p>
このえ学園以外のテーマ・学習単元例	<p>○福祉</p>			<p>○平和 ○福祉</p>	<p>○国際交流</p>	<p>○修学旅行</p>	<p>○平和</p>
	<p>地域の施設の見学をして、ユニバーサルデザインについて調べよう。</p>			<p>平和について学んだことを伝えよう。 お年寄りとの交流を通して、ボランティア活動をしよう。</p>	<p>APUの学生との交流を通して、様々な文化を学ぼう。英語で九重町の紹介をしよう。</p>	<p>日本の歴史・文化を実物にふれ、学ぶ。</p>	<p>平和について学んだことを伝えよう。</p>

総合的な学習の時間 共通テーマ・学習内容 実践内容

	3年生	4年生	5年生	6年生
東飯田小	<p>*身近な地域の特色</p> <p>○梨を育てる経験を通して、東飯田の梨をPRしよう。</p>	<p>*文化・伝統</p> <p>○麻生観八翁の残したものについて調べ、伝えよう。</p> <p>*いのち</p> <p>○1/2成人式の取り組みを通して、自分の成長をふり返ろう。</p>	<p>*地域の安全</p> <p>○地域の防災について調べ、防災リーフレットを作ろう。</p>	<p>*将来の夢</p> <p>○いろいろな職業について調べ、将来の夢を想い描こう。</p>
野上小	<p>*身近な地域の特色</p> <p>○野上じまんを探してパンフレットを作ろう。</p> <p>○ちびっ子マーケットを開こう。</p>	<p>*いのち</p> <p>○自分の成長をふり返り、1/2成人式で感謝の気持ちを伝えよう。</p> <p>○夢ポークを探ろう。</p>	<p>*環境・産業</p> <p>○九重とミナマタをつなぐ水(命)の旅</p> <p>○米作りについて調べ、米博士になろう。</p> <p>*地域の安全</p> <p>○地域の防災について調べ、防災マップを作ろう。</p>	<p>*将来の夢</p> <p>○野上の歴史、人に学び、自己の生き方や考え方を見つめよう。</p>
野矢小	<p>*身近な地域の特色</p> <p>○土づくりのひみつを調べよう。</p> <p>○野上川の水と生き物について調べよう。</p> <p>*文化・伝統</p> <p>○昔から伝わる食べ物について調べよう。</p>		<p>*環境・産業</p> <p>○私たちの作った野菜を発信しよう。</p> <p>*地域の安全</p> <p>○地域の防災について調べ、防災マップを作ろう。</p>	
飯田小	<p>*身近な地域の特色</p> <p>○飯田の自慢(タデワラ湿原)について調べ、紹介しよう。</p>	<p>*文化・伝統</p> <p>○飯田の歴史を調べよう。</p> <p>*いのち</p> <p>○1/2成人式で感謝の気持ちを伝えよう。</p>	<p>*地域の安全</p> <p>○防災について調べよう。</p>	<p>*将来の夢</p> <p>○飯田の歴史、人に学び、自己の生き方や考え方を見つめよう。</p>
	○タデワラ湿原について調べよう。			
淮園小	<p>*身近な地域の特色</p> <p>○淮園の自慢(しいたけ)を調べて、多くの人に知らせよう。</p>	<p>*環境・産業</p> <p>○淮園のホテルについて調べホテルを増やそう。</p> <p>*地域の安全</p> <p>○地域の防災について調べ、防災について発信しよう。</p>	<p>*将来の夢</p> <p>○地域の人の生き方に学び、自分の生き方を見つめよう。</p>	
*文化・伝統 ◎淮園太鼓のすばらしさを知り、自分たちの演奏を聞いてもらおう。				
南山田小	<p>*身近な地域の特色</p> <p>○地域の自然を探検しよう。</p>	<p>*いのち</p> <p>○地域について調べ、自分の成長を振り返り、それをもとに1/2成人式を開こう。</p>	<p>*環境・産業</p> <p>○九重のブルーベリーづくりを知ろう、体験しよう。</p> <p>*地域の安全</p> <p>○地域の防災について調べ、防災マップを作ろう。</p>	<p>*将来の夢</p> <p>○大人になることや夢を実現することなど、様々な人の生き方を学ぼう。</p>
ここのえ緑陽中	中学1年生		中学2年生	
	<p>*九重町の特色</p> <p>○九重町の特色(自然・観光・仕事・食文化・祭り)などについてグループごとに調べ、その良さを発信しよう。</p>	<p>*仕事</p> <p>○地域で働く人について調べ交流しよう。</p>	<p>*町づくり</p> <p>○九重町の長所と短所をまとめ、人に優しい九重町にするための町づくりプランを作ろう。</p>	

③「ここのえ学園」基本計画

1 目的

九重町第4次総合計画にもとづき、九重町の抱える教育課題を解決するために、こども園・小学校・中学校・公民館を中心に保護者・地域住民・各種団体が協働・連携して取り組むコミュニティの創造をめざす。

2 「ここのえ学園」のスローガン

子どもたちの「15の春」のあるべき姿をめざして教育改革に取り組む

3 「ここのえ学園」がめざす「15の春」の姿

子どもたちに、

○将来の夢を持って、自己実現に向かう力を育てること

○「ふるさと」九重町を大切にすることを育むこと

を目的に、教育関係者・保護者・地域住民が共有する15歳のめざす姿を次のように設定した。

グローバルに考え、ローカルに行動できる子ども
～ 日本一の田舎づくりを担う子どもの育成 ～

具体的なこども像

○自己実現のための確かな資質を持った子ども(知・徳・体)

・基礎・基本の学力の育成

・自己実現できる気力体力の育成

・自己決定力の育成

○ふるさと・九重町を大切にすることを育むこと

・多様な観点から自分と郷土(九重町)を見ることが出来る力の育成

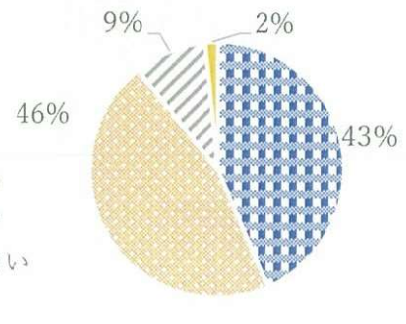
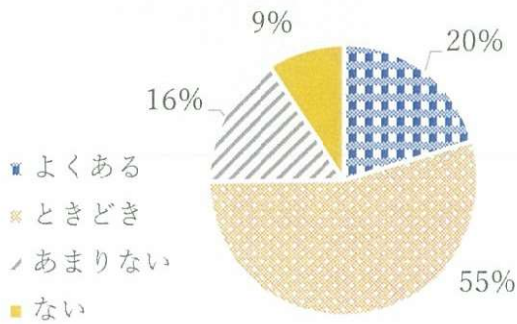
・自治の担い手としての素地の育成

税に関する意識調査

① 税金が役に立っていると思うことがありますか。

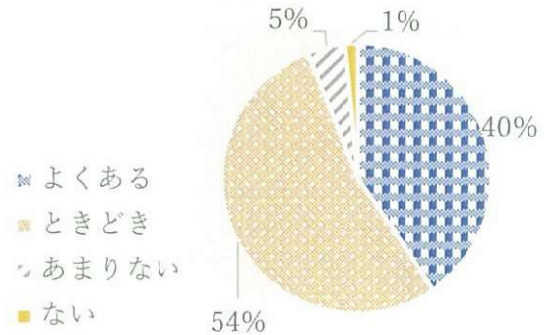
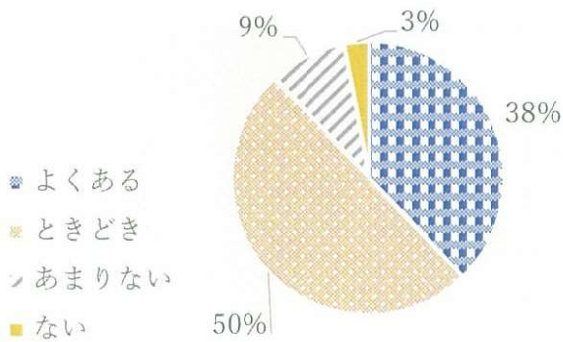
第1回(2020.6)

第2回(2021.2)



第3回(2021.6)

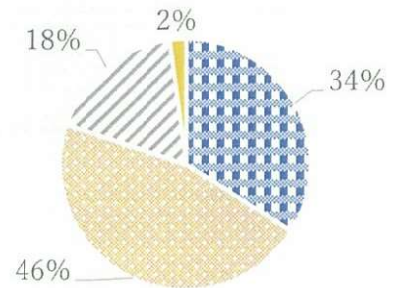
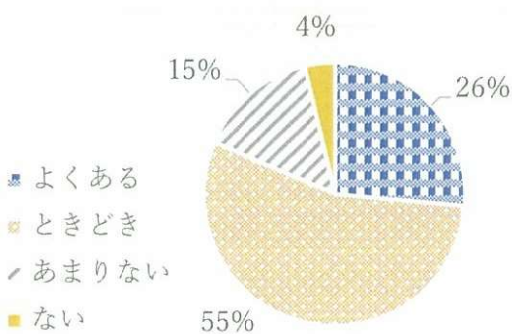
第4回(2021.9)



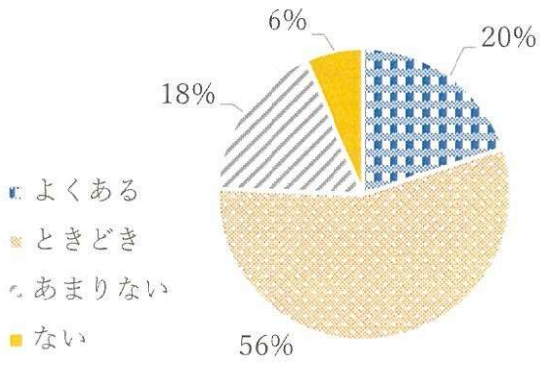
② 税金に関するニュースをテレビや新聞で見たり聞いたりしたことがありますか。

第1回(2020.6)

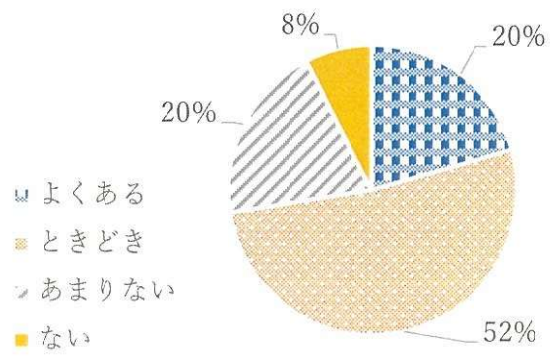
第2回(2021.2)



第3回(2021.6)

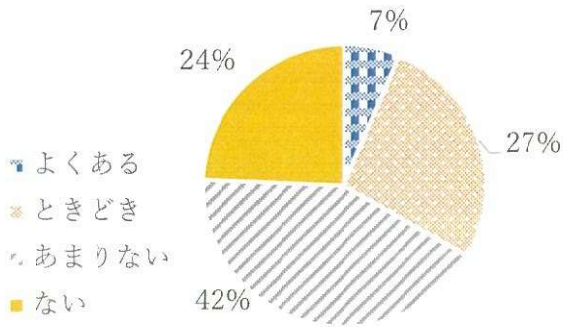


第4回(2021.9)

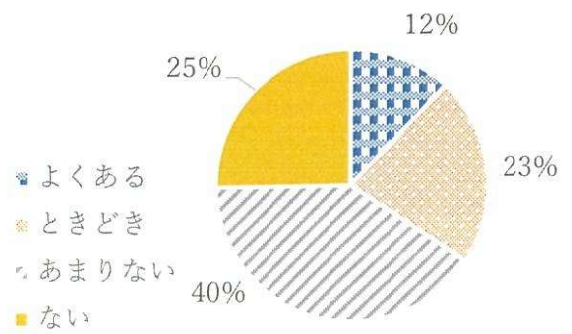


③ 家庭で税金に関する話を聞いたり話したりしたことがありますか。

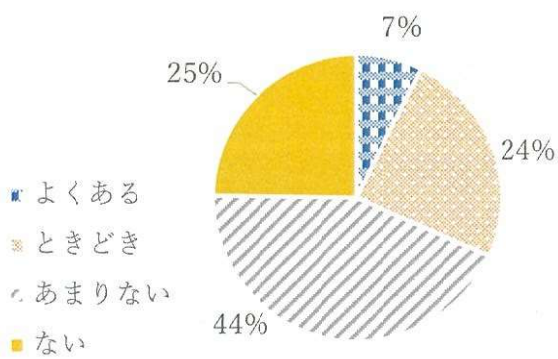
第1回(2020.6)



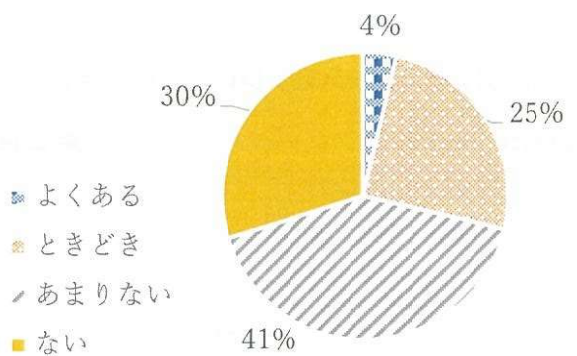
第2回(2021.2)



第3回(2021.6)

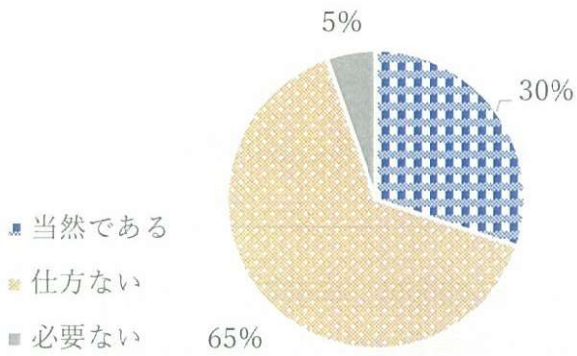


第4回(2021.9)

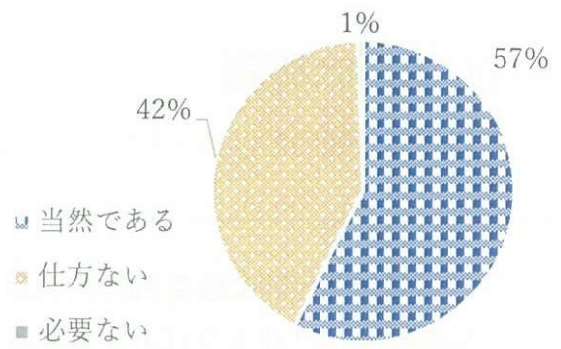


④ 税金を納めることをどのように思いますか。

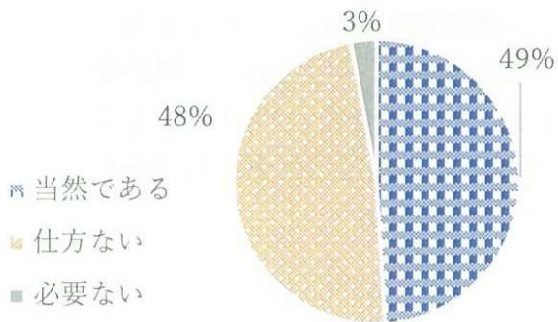
第1回(2020.6)



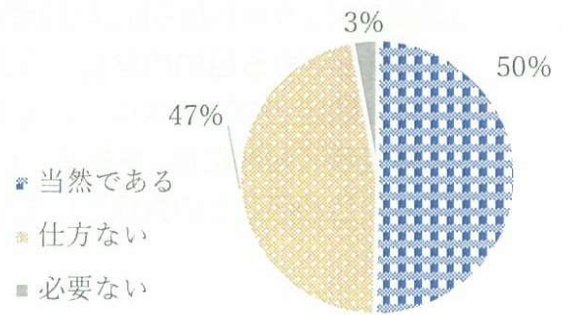
第2回(2021.2)



第3回(2021.6)



第4回(2021.9)



IV 成果と課題

2年間の研究における本校の成果と課題は以下のようにまとめることができる。

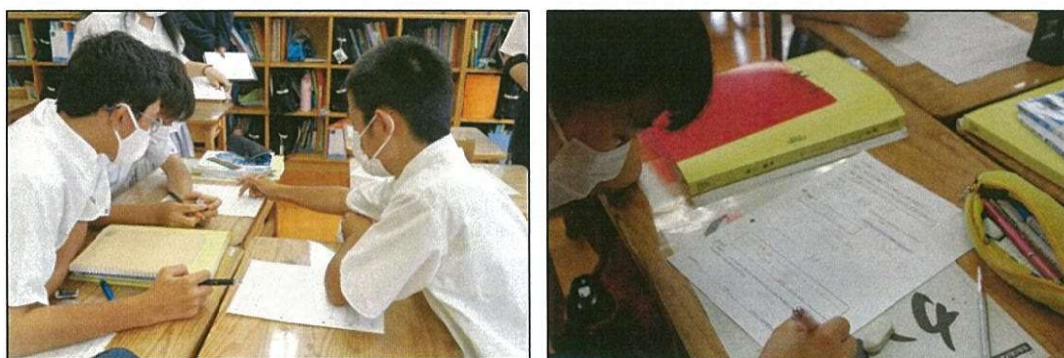
成果

○本校では、学校教育目標の観点から、総合的な学習の時間に学ぶ「このえ学」に取り入れ、「誰もが住みやすい町づくり」について学習を進めていった。租税教室やさまざまな擬似体験を通して、九重町に住む人にとってどのような町が住みやすいのかを考えたり、実現可能なプランを立てて提言する内容を出し合ったりしてきた。これらの学習を通して、『ともに生きる』気持ちが生まれていったように思われる。

○学習者アンケートからは、学習者の税に対する意識の変化を確認することができた。税を納める目的の学習からスタートして、税の意義を学びながら、税の使いみちと決定のプロセスについても関心を高めることができた。さらに、よりよい社会を築くためには、主権者としての権利を行使し、学んだことをこれからも積極的に広めることの大切さにも気づかせることができた。

課題

○租税教育の研究を通して、各教科と租税教育を関連させて年間指導計画に位置づけ、租税教育カレンダーを作成した。研究の期間だけの取組にならないよう、今後も年間指導計画を随時見直し、継続していくことが大切である。



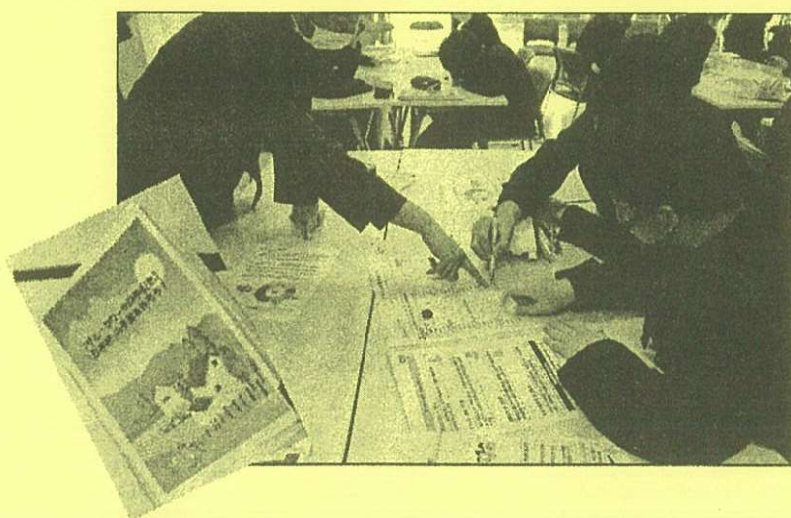
～ともに学び合い、自立した学習者の育成に向けて～

令和2・3年度大分県租税教育推進協議会委嘱

租税教育公開研究発表会 指導案&ワークシート集

研究主題

自分や地域の未来を見つめ、主体的に学習に取り組む学習者の育成



研究テーマ

『ともに生きる』

お年寄りに優しい社会
子どもに優しい社会
子どもやお年寄りが生き生きとした社会
子育てしやすい社会
災害などに強い社会
税負担の少ない社会
借金が少ない社会

令和3年11月12日(金)

九重町立このえ緑陽中学校

1年生

学習指導案

&

ワークシート

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和3年11月12日(金)

学習学年 1年 71名

指導者 阿部 純一

他1年部

1. 単元名 「伝え合おう 私たちの町 九重の魅力と課題 ～九重町の未来のために～」

2. 単元設定の理由

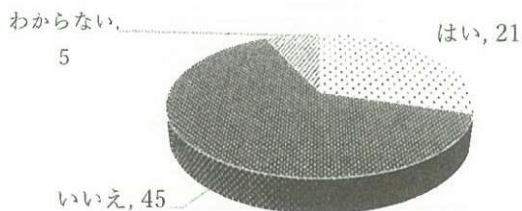
九重町は、定住1万人を目指して取り組んできたが、近年人口減少に歯止めがかからず、現在は9000人を割り込んでいる。しかし、九重町の教育を充実させること、学校が地域の文化の中心として地域と連携し、さまざまな取り組みを行うことを目的として「このえ学園基本計画」という取り組みを町ぐるみで行っている。このえ学園の基本方針は「ふるさとに学び、夢や志を抱き、ふるさと九重を大切に作るひとづくり」である。この目標を実現するために、小学校の同一学年が中学校に集まり、一緒に学習する集合学習やふるさと九重を学ぶ「このえ学」の導入、公民館や人材バンクを利用した地域との連携など特徴的な取り組みを行っている。

総合的な学習でも九重6小学校が、九重町について体験、知識、人との関わりを通して共通の系統的な学習を積んできている。それを土台としてこのえ緑陽中でさらに発展・深化した地域学習を行うことを目的として、このテーマを設定した。

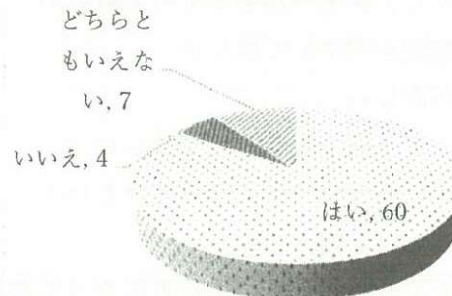
(1) 学習者観

1年生は、71名。素直で明るく、何事にも真面目に取り組むことができる。お互いに注意をし合ってより良い集団になろうと努力できるのも長所である。総合的な学習に取り組むにあたって事前アンケートをとった結果、以下のような結果となった。

将来九重町に住みたいですか。



九重町が好きですか。



【九重町の良いところ】

- ・山が多い
- ・緑（自然）が多い
- ・子どもの医療費が無料
- ・空気がおいしい
- ・景色が良い
- ・コロナがあまりでない
- ・いい人がたくさんいる
- ・水がきれい
- ・おいしいものがたくさんある（夢バーガーなど）
- ・ミヤちゃんがいる
- ・野菜が新鮮
- ・温泉が多い
- ・町がきれい
- ・観光地が多くある（スキー場、夢大吊り橋、温泉、竜門の滝など）

【九重町 こうなって欲しい】

- ・空き地を活用する
- ・もう少し店が欲しい（意見多数）
- ・観光スポット増やす
- ・今のままで良い
- ・災害に備えた設備をつくる
- ・ゴミを減らす
- ・お年寄りに優しい町になって欲しい
- ・コンビニが増えて欲しい
- ・ショッピングモールをつくって欲しい
- ・公共施設を増やして欲しい
- ・本屋が欲しい
- ・ゴミのポイ捨てをしないで欲しい
- ・魅力がいっぱいの町になって欲しい
- ・もっと人口が増えて欲しい
- ・子どもや高齢者を尊重する町になって欲しい
- ・子どもが今より少なくならないで欲しい

アンケートの結果から、九重町が好きと答える学習者が多く、九重町の魅力をたくさんあげることができているが、将来的な九重町の姿を想像すると、住み続けたい町として考えられない学習者が多いことが分かった。

小学校では各校区にある自然や伝統行事、観光などのテーマで総合的な学習を行っており、アンケートからも九重町の魅力や課題を学習者がある程度とらえていることが分かった。与えられたテーマから調べ、まとめ、発表するといった学習は小学校の時に経験し、ある程度できるが、さまざまな情報を収集した後、比較し関連付けて考えることや、疑問や新たな課題を見つけて探究していく活動は苦手としている学習者が多い。また税金についての知識もほとんどなく、国や地方自治体の苦しい財政事情についてもほとんど理解していない。

(2) 単元観

第1学年の総合的な学習の時間では「九重町を知る」という探究的な学習を通して、自分や地域の未来を見つめ、主体的に学習に取り組む学習者の育成を図る。多くの学習者にとって九重町は幼い頃から慣れ親しんだ場所であり、九重町がどんな所かは漠然と理解できている。しかし、その内容は特産物や観光名所など一般的な知識に留まり、表面的なものが多い。中学生になり、将来の自分の姿を少しずつ現実的にとらえ始めた今、九重町のことをより深く知り、新しい魅力や課題を見つけられると考える。具体的には、住みよい町にするためには何ができるか、九重町の新たな魅力や課題を発見しながら、ふるさとに誇りを持ち、自分たちが地域のために何ができるのか考え、税金を有効に使うにはどうすればいいか等を考えることを通して、九重町に生きる住人として主体的に関わっていこうとする態度が芽生えることが期待できる。

(3) 指導観（指導について）

課題設定の工夫として、まず小学校から各校区の特色、産業や文化、歴史などについて課題を持って調べ学習などを行ってきた内容や九重町に関するイメージをアンケートで集約する。集約結果と「九重町の2040未来予想図」を参考にして、【子育て・教育】【医療・介護】【空き家・土地利用】【インフラ・公共施設・公共交通】【働く人】の5つのテーマを設定し、学習者が興味のあるテーマに沿って班分けを行い、活動していく。

情報収集の工夫は、情報収集にあたっては、九重町の課題だけではなく新たな魅力を発見していく視点を重視させることを意識させていきたい。また、インターネットや文献だけではなく、身近な大人、九重の事業者、九重町役場などさまざまな角度から情報を集めながら、グループごとに整理、分析、まとめ、発表を通して九重町の魅力と課題を発信しようという目標に迫っていく。

整理分析の工夫としては、さまざまな情報の整理・分析する段階では、マトリックスや座標軸、イメージマップなど思考ツールを使って子どもたちが根拠を持って自分の考えを表現したり思考を深めるようにしたりしていきたい。

まとめ・表現の工夫は、情報を集め、整理分析ができれば班ごとにテーマに沿ったプレゼンテーションや発表原稿をつくる。九重町の魅力や課題について発表会を行い、質問や意見交流を行う。その後ワークシートにまとめと振り返りを書く。

3. 単元の目標

九重町の魅力や抱える課題について、さまざまな角度から情報を集めながら、自分との関わりで考えグループごとに整理分析し、発表する探究的な活動を通して、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにする。また、これからの町づくりについて、税の仕組みや種類について理解し、地域の特色と有効な使い道に関連付けて考えることにより、主体的に考え、行動できるようにする。

4. 単元の評価規準

小単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 九重町の自然、観光、産業などの特色や課題を理解している。 ② 地域の魅力や課題をつかむために、目的に応じて情報を収集したり、インタビューをしたりしている。 ③ 地域のためにできることについての理解は探究的に学習してきたことの成果であるということに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 九重町の魅力と課題を調べようと見通しを持って計画を立てている。 ② 九重町の魅力と課題の発信のために必要な情報を取捨選択している。 ③ 複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら整理して考えている。 ④ ICTを利用して、調査結果や、企画内容をグラフや図、写真等を使って効果的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 調査活動の振り返りを通して、自ら設定した課題の価値に気づき、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ② 自他の考えを生かしながら協同して取り組もうとしている。 ③ 自らが地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて、積極的に関わろうとしている。
----------	--	--	---

5. 指導と評価の計画（全22時間）

小単元名	ねらい・学習活動	評価規準と評価方法
<p>九重町について知ろう ①（2） 【課題の設定】</p>	<p>「九重町の2040未来予想図」を使って意見交流をする。</p>	<p>（思考・判断・表現①） 資料を使って、意見を交流しながら九重町の未来について考えようとしている。 （租税教育との関わり） 「2040年未来予想図」などから、税金と支出、人口減少など九重町のさまざまな課題について知ることができる。 【行動観察、発言分析、ワークシート】</p>
<p>2. 九重町について知ろう②（2） 【情報の収集】</p>	<p>九重町の観光、農業、食べ物、資源などを知り、意見交流をする。</p>	<p>（知識・技能①） 【行動観察、発言分析】</p>
<p>3. 調べる内容を決めよう（2） 【課題設定・課題点検】</p>	<p>班ごとに分かれて意見交流をしながら調べ学習のテーマを決定する。</p>	<p>（主体的に学習に取り組む態度①②） 九重町の魅力や課題に興味を持ち、自らの意思でテーマを設定しようとしている。 【発言分析、ワークシート】</p>
<p>4. 九重町の魅力と課題について調べよう（12） 【情報の収集】 【整理・分析】</p>	<p>テーマごとにグループに分かれて調べ学習を行う。 調べた内容をプレゼンテーションでまとめる。 発表原稿を作成する。</p>	<p>（知識・技能①②） テーマに沿って集めた多様な情報を比較したり関連付けたりしながらまとめようとしている。 （思考・判断・表現②） 九重町の魅力と課題の発信のために必要な情報を取捨選択している。 （租税との関わり） 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。 九重町の現在とこれからの財政について興味関心を持つようとしている。 【スライド、発表原稿、行動観察、ワークシート】</p>

<p>5. 九重町の魅力と課題を発信しよう (2/2時間 本時) 【整理・分析】 【まとめ・表現】</p>	<p>グループごとに調べた内容をスライドで発表する。</p>	<p>(思考・判断・表現③④) 伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ適切な方法で表現している。 【スライド、発表観察、ワークシート】 (主体的に学習に取り組む態度②③) 他者の発表を聞いたり、考えを認めたりしながらさまざまな九重町の魅力や課題について知ろうとしている。 【行動観察、ワークシート】</p>
<p>6. 振り返りをしよう (2) 【まとめ・表現】</p>	<p>各グループの発表から学んだこと、気づいたこと、税のことなどをワークシートにまとめる。</p>	<p>(主体的に学習に取り組む態度③) 九重町の魅力や課題に気づき、地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。 【行動観察、ワークシート】 (租税との関わり) 税金の大切さに気づき、これからの九重町の財政についてどうあるべきか考えることができています。 【行動観察、ワークシート】 (知識技能③) 地域のためにできることについての理解は探究的に学習してきたことの成果であるということに気づいている。 【行動観察、ワークシート】</p>

6. 本時案

(1) ねらい

九重町の魅力と抱える課題について、まちづくりやそれに関わる人々について様々な視点から調べたことを交流し、それぞれが考える魅力と課題を比較したり、関連付けたりする活動を通して、九重町を多面的に捉えることができるようにする。

(2) 展開

学習活動	時間	教師の指導・支援	評価等
1. これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	2		
めあて 各班で調べたことを共有し、九重町の魅力と課題について考えよう。			
2. グループごとに発表する。	4 3	<ul style="list-style-type: none"> 感想や評価を記入させる。 各班へ質問をさせる。 	<p>[思考・判断・表現]</p> <p>①九重町の魅力と課題の発信のために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら考えている。※ワークシート</p> <p>租税の視点を入れた発表を心がけている。</p> <p>※ワークシート</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> Aグループ：子育て・教育 Bグループ：医療・介護 Cグループ：空き家や土地 Dグループ：インフラ・公共施設・公共交通 Eグループ：働く人（農業や観光など） </div>			
3. 本時の学習を振り返る。	5	<ul style="list-style-type: none"> 各班の発表を聞き、九重町の良いところや課題についてももう一度考えて書かせる。 時間があれば数名発表させる。 	

1年生発表会 ワークシート

1年()組()番 名前()

テーマ 「各班で調べたことを共有し、九重町の魅力と課題について考えよう」

～発表の評価の視点～

◎【とても良い】 ○【良い】 △【もう少し】

- ① 発表の態度（声の大きさ、姿勢など）
- ② 発表の内容（グラフや画像などを使ってスライドをまとめられているか、九重町の魅力や課題がわかりやすくまとめられているか、など）

Aグループ：子育てと教育 Bグループ：医療・介護 Cグループ：空き家や土地
Dグループ：インフラ・公共施設・公共交通 Eグループ：働く人（農業や観光など）

順番	テーマ	①態度	②内容	発表を聞いて、新たに気づいた九重町の魅力や課題を書こう
1	空き家について Cグループ			
2	スキー場について Eグループ			
3	公共施設について Dグループ			
4	バリアフリーについて Bグループ			
5	小学校について Aグループ			
6	公共交通について Dグループ			
7	山林について Cグループ			
8	農業について Eグループ			

順番	テーマ	①態度	②内容	発表を聞いて、新たに気づいた九重町の魅力や課題を書こう
9	こども園について Aグループ			
10	夢大吊り橋について Eグループ			
11	インフラについて Dグループ			
12	田畑について Cグループ			
13	高齢者について Bグループ			
14	医療について Bグループ			
15	中学校について Aグループ			

- いろいろな班の発表を聞いたり、自分たちが調べたことをまとめたり、発表したりする活動を通して、あなたの考えた九重町の魅力を3つあげてください。

①	②	③
---	---	---

- 九重町の課題はどのような所だと考えますか、その理由も考えて書いてください。

私は、九重町の課題は（ ）だと思います。
その理由は・・・

2年生

学習指導案

&

ワークシート

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

2021年11月12日(金)

学習学年 2年 69名

指導者 加藤 敦士

他2年部

1. 単元名 九重町の人々の生き方から学ぼう

2. 単元設定の理由

(1)学習者観

自然にあふれ、四季折々の風景を見ることができ九重町で、学習者たちは温厚で素直に育っている。本校では、この郷土である九重町について深く理解し、愛着や誇りをもつことを目的として、「ここのえ学」を基盤として地域について調べたり、考えたりする活動を行っている。しかし、実際に学習者の声を聞いてみると、九重町について関心はあるものの、地域の実態や人々がどのような営みをしているか知らない学習者も少なくない。

第2学年の様子を見ると、互いの悩みを聞きあう温かい雰囲気があり、授業において発表や発言も多く、ペアやグループでの活動にも意欲的に取り組むことができている。

(2)単元観

第2学年では例年、職業について学び、将来の自分について考える学習を行っているが、郷土である九重町のことをしっかりと知り、そこで働く人たちから学ぶことが、働くことの意義を実感し、自分との関わりで考え、主体的に行動することにつながると考えた。

まず1学期には、将来の夢や就きたい職業、職業適性について触れながら、働くことについて学ぶ理由や働く意義について考える学習を行った。興味のある職業について調べたり、それを発表し合ったりする活動の中で、学習者は、学校の諸活動で常に共有している学校の教育目標にある「ともに生きる」や、昨年度に道徳科で実施した大分県在住のパラリンピックアスリートである中西麻耶さんの講演と関連付け、「九重町で自分たちだけではなく、「しょうがいしゃ」の人たちとともに働き、ともに生きるためにはどうしたらよいか」という課題を設定した。これまでに九重町社会福祉協議会より講師を招いて擬似体験活動を行ったり、映画『クイール』を視聴して考えたりする活動を通して、「しょうがいしゃ」の困りやサポートの仕方、盲導犬や介助犬など「補助犬」の役割について学んでいる。

租税教育の観点では、「ともに生きる」・「ともに働く」社会をつくるために九重町の税金がどのように使われているかを理解するとともに、九重町のよさを理解し、主体的に郷土について考え、行動できるようにしたい。

(3)指導観

これまでの学習過程や現在の学習状況を毎時の授業で確認させて、探究のプロセスをしっかりと意識して取り組めるようにする。また、第2学年の自分の考えを伝え合える雰囲気を生かしながら、調べたことを根拠として話し合う活動を適宜設定したい。また、「ともに生きる」・「ともに働

く」という視点での振り返りを重視することで、単元の目標達成につなげたい。

3. 単元の目標

九重町の仕事やその仕事に取り組む人々に関連して、「しょうがいしゃ」の方とともに働き、誰もが住みやすい九重町について考える活動を通して、働くことの意義や地域の在り方と自分自身の生き方との関わりに気付き、自分との関わりで考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に積極的に生かすことができるようにする。また、九重町のよさを理解し、郷土について考え、主体的に行動できるようにする。

4. 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
九重町の人々の生き方から学ぼう	<p>①「しょうがいしゃ」の抱える困りや、「しょうがいしゃ」に関わる九重町の取組について知り、「ともに生き、ともに働く」社会の実現のためには、多面的・多角的に課題を捉え、人や組織と目的を共有して取り組むことが必要であることを理解している。また、働くことの意義や地域の在り方と自分自身の生き方との関わりに気付いている。</p> <p>②「しょうがいしゃ」の困りや九重町の取組等を知ったり、働く意義について考えたりするための調査を、探究の過程や対象に応じた適切な方法で実施している。</p> <p>③働く意義や「ともに生き、ともに働ける」社会と自分との関わりについての理解は、探究的な学習をしてきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>①「しょうがいしゃ」の抱える困りや九重町の取組と自分自身の生き方を関連付けることで課題をつくり、見通しをもって計画を立てている。</p> <p>②「しょうがいしゃ」の困りや九重町の取組等を知ったり、働く意義や地域の在り方について考えたりするために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択して収集し、蓄積している。</p> <p>③課題解決に向けて、多様な情報の特徴に応じて整理・分析し、「ともに生き、ともに働く」ために必要なことにつながるものとして焦点化しながら解決に向けて考えている。</p> <p>④働く意義の理解や「ともに生き、ともに働ける」社会の実現のために、調査結果や考えたことをグラフや写真等を用いて効果的に表し、分かりやすく表現している。</p>	<p>①これまでの調査活動や探究のプロセスの振り返りを通して、自ら設定した課題の価値に気付き、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>②「しょうがいしゃ」の抱える困りや九重町の取組、「ともに生き、ともに働ける」社会について調べたことや考えたことを発表し合い、自他の考えを生かしながら、協働して課題を探究しようとしている。</p> <p>③働く意義についての理解を深めたり、「ともに生き、ともに働ける」社会を実現させたりするために、地域と自分自身の生き方と関連付け、自分にできることを考え、行動しようとしている。</p>

5. 指導と評価の計画（全21時間）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	評価規準と評価方法
<p>1. 「しょうがいしゃ」の現状を知ろう（2）</p>	<p>○これまでの学習を振り返り、「しょうがいしゃ」の抱える困りや九重町の取組と自分自身の生き方を関連付けることで課題をつくり、見通しをもって計画をたてる。</p> <p>○アイマスクを使用して視覚「しょうがいしゃ」の擬似体験を行い、介助の方法について学ぶ。</p> <p>○車いす介助の擬似体験を通して、安全に介助する方法について学ぶ。</p>	<p>（思考・判断・表現①） （主体的に学習に取り組む態度①）</p> <p>これまでの学習を振り返り、「しょうがいしゃ」の抱える困りや九重町の取組と自分自身の生き方を関連付けることで課題をつくり、見通しをもって計画をたてている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>（知識・技能①） 「しょうがいしゃ」の抱える困りや、「しょうがいしゃ」に関わる九重町の取組について理解している。</p> <p>【発言、ワークシート】</p>
<p>2. 「しょうがいしゃ」が自立して生活するための方法を知ろう（5）</p>	<p>○聴導犬・介助犬についての動画を視聴し、その役割について知る。</p> <p>○盲導犬についての動画を視聴し、その役割について知る。</p> <p>○セラピー犬についての動画を視聴し、その役割について知る。</p>	<p>（知識・技能①） 補助犬の役割について理解している。</p> <p>【発言、ワークシート】</p>

<p>3. 「ともに働く」ための方法を考えよう(14)</p> <p>(1) 興味のある職業について調べ、働く意義について考えよう</p> <p>(2) 「しょうがいしゃ」の現状や九重町の取組について調べよう</p> <p>(3) 九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ためにはどんなことが必要か考えよう (本時)</p>	<p>○調べ学習を通じて、学ぶ意義や働く意義について考える。</p> <p>○個人テーマに基づいた4つのグループに分かれて職業調べをする。</p> <p>A『身近な生活(視覚)』 B『社会生活(聴覚)』 C『知る・学ぶ・楽しむ(身体)』 D『科学技術・飲食(補助犬)』</p> <p>○『「しょうがいしゃ」とともに働ける町づくり』の視点から、職業との関連を踏まえてまとめる。</p> <p>○調べた内容をプレゼンテーションソフトにまとめ、発表する。</p> <p>○各グループ(A~D)の代表班の発表を聞き、九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ために必要なことはどんなことかを考える。</p>	<p>(知識・技能①) 学ぶ意義や働く意義について理解している。</p> <p>(知識・技能②) (思考・判断・表現②) 興味のある職業や「しょうがいしゃ」の現状について、探究の過程や対象に応じた適切な方法を考え、情報を収集している。 【ワークシート、スライド】</p> <p>(思考・判断・表現④) 興味のある職業や「しょうがいしゃ」の現状について収集した情報から必要なものを選択し、個人・班でまとめ、わかりやすく工夫して発表している。 【ワークシート、スライド】 (主体的に学習に取り組む態度②) 興味のある職業や「しょうがいしゃ」の現状についての発表をもとに、自他の考えを生かしながら、協働して、九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ための手段・方法を考えようとしている。 【ワークシート】 (思考・判断・表現③) 「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ために必要なことを考え、記述している。【ワークシート】 (租税教育との関わり) 税についての知識や情報を活用している。 ・九重町のよさを理解している。</p>
---	---	---

6. 本時案

(1) ねらい 九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ために必要なことについて、調べ学習や「しょうがいしゃ」擬似体験学習等で学んだことについての発表を聞いたり、意見を交流したりする活動を通して、自分の考えを深めることができる。

(2) 展開

学習活動	時間	教師の指導・支援	評価等
1. これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	2	・めあてをスライドにして、視覚化し確認しやすくする。	
九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ためにはどんなことが必要か考えよう。			
2. 学年生徒会の進行により、各グループ(A~D)の代表班が発表する。 A『身近な生活(視覚)』 B『社会生活(聴覚)』 C『知る・学ぶ・楽しむ(身体)』 D『科学技術・飲食(補助犬)』 [発表各5分、最後にまとめて質疑3分]	28	・司会進行等を学年生徒会で行い、発表の場で自主運営をさせる。 ・発表を聞いて学んだことや新たにわかったことを自分の考えに加筆させる。 ・各班へ質問をさせる。 ・個人で考えさせる。	[思考・判断・表現③] 「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ために必要なことを考え、記述している。 【ワークシート】
3. 九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ために必要なことはどんなことか考える。	15	・『「しょうがい」の有無に関わらずともに働くために、町にはどんなことができるか』という視点をふまえて考えさせる。 ・班で意見交流させる。 ・数名の生徒に発表させる。	[主体的に学習に取り組む態度②] 「しょうがいしゃ」の抱える困りや九重町の取組、「ともに働ける」社会について調べたことや考えたことを発表し合い、自他の考えを生かしながら、課題を探究しようとしている。
4. 本時の学習を振り返る。	5	・本時の学習を振り返り、次時の学習へとつなげる。	

<p>(4)単元の振り返りをしよう</p>	<p>○単元の振り返りを行う。</p>	<p>(知識・技能③)</p> <p>単元の学習を振り返り、「ともに生き、ともに働ける」社会や働く意義と自分との関わりについての理解は、探究的な学習をしてきたことの成果であることに気付いている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度③)</p> <p>単元を振り返り、働く意義についての理解を深めたり、「ともに生き、ともに働ける」社会を実現させたりするために、地域と自分自身の生き方と関連付け、自分にできることを考え、行動しようとしている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>(租税教育との関わり)</p> <p>九重町のよさを理解し、主体的に郷土について考えようとしている。</p>
-----------------------	---------------------	---

11. 12 「租税教育研究発表会」 2年ワークシート

() 組 () 番 名前 []

単元名 九重町の人々の生き方から学ぼう
 [今日のめあて]
 九重町で「しょうがいしゃ」と「ともに働く」ためにはどんなことが必要か考えよう

1. これまでの学習から、次の3つの点について自分の考えをまとめておこう。

①「しょうがいしゃ」の抱える困りはどんなことか？	②九重町はそれに対して、どんな取組をしているだろうか？	③「しょうがいしゃ」と「ともに働ける」社会にするために必要なことは？

2. グループ代表の発表

	質問	気づいたこと (上記1をふまえて)
A		
B		
C		
D		

3. 「しょうがい」の有無に関わらず、「ともに働く」ために九重町にはどんなことが必要だろう？

[自分の考え]

※班で交流して友だちから聞いたことを上の [自分の考え] にメモしよう

4. 今日の学習を振り返ろう。

わかったこと、気付いたこと、自分の考えの 変容など	疑問に思ったこと、課題の探究に向けて次にした いこと・すべきことなど

3年生

学習指導案

&

ワークシート

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和3年11月12日(金)

学習学年 3年 72名

指導者 日野 幸子

飯田千代美

他3年部

1. 単元名 「魅力のある九重町にするための町づくりプランを作り発信しよう」

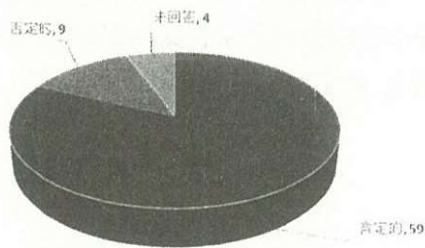
2. 単元設定の理由

(1) 学習者観

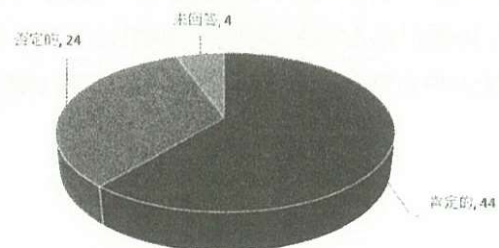
本学年はまじめな学習者が多く、様々な行事に対して真摯に取り組むことができる。また、学習にも意欲的に取り組み、学級や学年の中でわからない問題などがあれば、お互いに質問し合い教え合う姿が見られる。しかし、自己表現を苦手とする学習者が多く、自分の意見に自信がないため、活発に発表や発言を行うことに課題を抱えている。2学年時の「税の学習」では、納税の必要性や大切さを学習した。その際、税は身近なものであること、支えられている部分が多くあることに気が付くことができていた。日ごろの生活に税が関わっていることを知り、3学年時の夏休みの課題ではほとんどの学習者が「税について」の作文に取り組むことができた。

本単元を学習するにあたっては、実施した調査内容の各項目において肯定的に回答した学習者の割合は下の表のようになった。この結果から、学習者は「九重町に発展してほしい」という気持ちはあるが、自らが町の発展のために関わっていくことには繋がっておらず、自分のことと捉えられていないことがわかった。

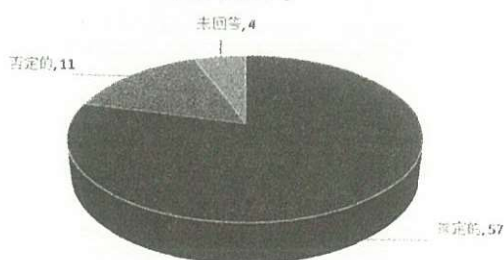
九重町のことが好きですか。



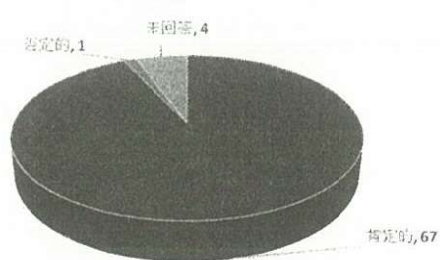
将来、九重町の役に立ちたいと考えますか。



コロナ禍前、地域の行事に参加しましたか。



ここから九重町が発展してほしいですか。



(2) 単元観

本校は、町内の6校の小学校から集まる唯一の中学校であり、町は自然豊かで温泉やスキー場を持ち、町内の子どもは中学生まで医療費負担なしという、子育てのしやすさを掲げている町の中学校である。九重町は定住1万人を目指して取り組んできたが、近年人口減少に歯止めがかからず、現在は9000人を割り込んでいる。

本単元「魅力のある九重町にするための町づくりプランを作り発信しよう」は、本校3年間の総合的な学習の時間の総仕上げとして位置付けている。学習者たちは1学年で「地域調べ」の中で地域の企業や観光地の大吊橋を見学するなど、九重町の4地区について学んできている。3学年になった今年度は、地域を見つめ直し、地域の長所や課題を調べる活動や地域の一員として今の自分たちにできることを考える活動を行ない、地域の未来についてより深く考え、自らの行動が地域の発展につながることに気付くことができる単元である。

(3) 指導観

指導にあたっては、これまでに学習してきた「地域調べ」や「税についての学習」を土台にしたい。「魅力のある町」とは、町の長所である自然の豊かさを活かすことができ、人々が集まり、またこの町に来たいと思えたり、将来もこの町に住みたいと思えたりするような町と考える。具体的には、九重町の長所や課題を考え、「魅力のある町」の取り組みとはどんなものなのかを学習し、【観光】【自然】【公共施設・交通・インフラ】【食べ物】【教育・医療（福祉など）】【働く人や場（商業・農業・その他産業）】の6つのグループに分ける。グループごとに情報を整理、分析、まとめ、発表を通して、九重町を魅力ある町にするための取り組みについて考えていきたい。グループで話し合い練りあっていく活動を通して、発表を苦手としている学習者が、自信を持って自分の考えを発言できるように支援していく。その中で、今の自分たちにできることを考えたり、町の発展について自分たちが関わるることについて考えたりして、町の課題は、自分たちの問題であると捉えて関わろうとする態度を育てていきたい。

3. 単元の目標

自分たちの住む地域の長所や課題を調べ、魅力のある九重町にするための町づくりプランを作り、発信する活動を通して、地域が抱えている問題や、地域に住む人々が将来も安心して暮らすために必要なことに気づき、自分たちとの関わりや九重町の良さを理解し、主体的に郷土について考え、行動できるようにする。

4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<p>① 魅力のある町づくりには、そこに存在する多様な問題の解決に向けて人や組織と目的を共有して取り組むことが必要であることを理解している。</p> <p>② 九重町が取り組んでいる施策や、他の市町村が取り組んでいる施策についての調査を、対象に応じた適切な方法で実施している。</p> <p>③ 九重町の町づくりに関する問題状況と自分たちの生活の関わりについての理解は、探究的に学習してきた成果であることに気付いている。</p>	<p>① 地域の町づくりについて、九重町のイメージや長所、短所を通して感じたことから、九重町の良さや課題を明らかにしている。</p> <p>② 地域の町づくりに関する現状を捉えるために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。</p> <p>③ 収集した情報を比較・分類することで、町づくりにつながるものとして整理しながら解決に向けて考えている。</p> <p>④ 魅力のある町づくりの実現に向け、調査した内容を絵や写真を使って効果的に表している。</p>	<p>① 課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分たちが作った町づくりプランについて、アドバイスをもらう活動を通して、アドバイスを活かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③ 魅力のある町づくりプランを作ることを通して、自分の生活を見直し、地域と協働しながら自分ができることに取り組もうとしている。</p>

5. 指導と評価の計画(全20時間)

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	評価規準と評価方法
1. 九重町の現状を知ろう (2)	<p>○九重町の現状について予想し、友達と考えを交流する。(課題確認)</p> <p>○おうちの方に九重町の長所と課題についてインタビューをする。</p> <p>○九重町の課題の整理・分析し、全体で交流する(班活動)</p> <p>○課題として挙げた内容を具体的に調べる計画を立てる。</p>	<p>(知識・技能①)</p> <p>(思考・判断・表現①)</p>
2. 「魅力のある九重町」にするための情報を収集しよう。 (5)	<p>○九重町の様々な取り組みや支援制度について情報を収集する。</p> <p>○魅力ある町とはどんな町か、他市町村(豊後高田市・など)・県外(北海道・沖縄など)の情報を収集する。</p> <p>○九重町の自慢と理想、情報を整理・分析</p>	<p>(知識・技能②)</p> <p>(思考・判断・表現②)</p> <p>(租税との関わり)</p> <p>税の学習…税と関わりのある施策や制度について興味を持つこ</p>

	し、グループに分ける。(班活動)	とができる。
3.「魅力のある九重町」にするための「町づくりプラン」を作ろう。(10)	<p>○グループの調査内容に応じて調べたことから、分かったことをまとめる。</p> <p>○各グループの「町づくりプラン」をつくる。</p> <p>○社会科で財政の授業を受けた後、九重町の財政について考え、プランを練り直す。</p> <p><u>○緑陽中「町づくりプラン」を発表し、地域を支える人々のアドバイスを活かし、プランを練り直す。(本時)</u></p>	<p>(思考・判断・表現③④)</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度①②)</p> <p>(租税との関わり)</p> <p>税の学習…自分たちの生活と税との関わりについて興味を持つことができる。</p> <p>郷土愛…地域を支える方々の思いに迫ることができる。</p>
4.「町づくりプラン」を発信しよう。(3)	<p>○「町づくりプラン」の完成・学年で交流する。</p> <p>○完成した「町づくりプラン」を九重町町長に向けて提言を行う。</p>	<p>(知識・技能③)</p> <p>(思考・判断・表現④)</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度③)</p> <p>(租税との関わり)</p> <p>郷土愛…これからの地域の発展について考えることができる。</p> <p>協働する力…地域と協働して町づくりについて考えることができる。</p>

6. 本時案

(1) ねらい 「緑陽中 町づくりプラン」について、地域と協働する町づくりという視点で、ゲストティーチャーのアドバイスを活かしたプランをつくることができる。

(2) 展開

各教室： [A 観光:3年2組] [B 自然:特別教室3] [C 公共施設・交通・インフラ、食べ物:3年1組]
 [D 教育・医療・福祉、働く人や場(商業・農業・その他産業):パソコン室]

学習活動	時間	教師の指導・支援	評価等
1. これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	5		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 緑陽中「町づくりプラン」を発表し、アドバイスを活かした地域との協働プランに練り直そう。 </div>			
2. 町づくりプランを発表する。 ・1グループ3分で発表する。	12	・感想や評価を記入させる。 ・地域との協働の視点で町づくりのヒントを探らせる。	[主体的に学習に取り組む態度②] ・自分たちが作った町づくりプランについて、アドバイスをもらう活動を通して、アドバイスを活かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。
3. ゲストティーチャーからのアドバイスを受け、活かせるアイデアを探る。	8	・他のグループへのアドバイスを、自分たちのグループに活かせるアイデアを探るよう指導する。	
4. アドバイスを受け、自分たちのプランを練り直す。	20	・アドバイスに対する質問など、地域と協働する町づくりの視点で練り直すことを指導する。 ・練り直しができたグループから、もう一度ゲストティーチャーにプランを発表するよう指導する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「努力を要する状況」の生徒への手立て ・着目する点や考える内容の視点を、明確にしたワークシートを準備する。 </div>			
5. 本時の学習を振り返る。	5	・本時の学習を振り返り、自己評価させる。	

めあて 緑陽中「町づくりプラン」を発表し アドバイスを活かした地域との協働プランに練り直そう。

1. グループの発表

	魅力があると感じたところ (町の長所を生かし人々が集まる)	感想 (新たな気づきや発見など)
① ()組 ()班		
② ()組 ()班		
③ ()組 ()班		
④ ()組 ()班		

2. アドバイスを箇条書きして、それに対する自分の考えをかきましょう。

ゲストティーチャーからのアドバイス	考えたこと

3. 本日の学習をふりかえろう。

① 自己評価をしよう。

・「めあて」について、自分なりの考えを持ち、グループでプランを練り直すことができた。

[A:とてもよくできた B:できた C:あまりできなかった]

② 感想をかきましょう。

----- ----- -----

~Note~